

エディウスJ

ユーザーズマニュアル

IMPORTANT

著作権に関する大切なお知らせです。必ずお読みください。

本製品を使用して他人の著作物（例：CD・DVD・ビデオグラム等の媒体に収録されている、あるいはラジオ・テレビ放送又はインターネット送信によって取得する映像・音声）を録音・録画する場合の注意点は下記の通りとなります。

- 著作権上、個人的又は家庭内において著作物を使用する目的で複製をする場合を除き、その他の複製あるいは編集等が著作権を侵害することがあります。収録媒体等に示されている権利者、放送、送信、販売元または権利者団体等を介するなどの方法により、著作者・著作権者から許諾を得て複製、編集等を行う必要があります。
- 他人の著作物を許諾無く複製または編集して、これを媒体に固定して有償・無償を問わず譲渡すること、またはインターネット等を介して有償・無償を問わず送信すること（自己のホームページの一部に組み込む場合も同様です）は、著作権を侵害することになります。
- 本製品を使用して作成・複製・編集される著作物またはその複製物につきましては当社は一切責任を負いかねますので予めご了承ください。
- 本製品は、コピーガード信号付映像を入力できません。

canopus



ご使用上の注意点

本製品および本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することを禁じます。

本製品の内容や仕様については、将来予告なしに変更することがあります。

本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求についても、当社は一切の責任を負わないものとします。

製品本来の使用目的及び当社が提供を行っている使用環境以外での動作は保証いたしかねます。

CPUなどを定格外でご使用の場合、本製品の動作保証は一切いたしかねます。

本製品のソフトウェア、マニュアル、その他添付物を含めたすべての関連製品について、ソフトウェアの解析、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブリ等を禁じます。

本書における記載事項の誤り等については、当社はいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。

本書の誤りや記載漏れ、ご不明な点などお気づきの点がございましたら、カノーブス株式会社テクニカルサポートまでご連絡ください。



著作権について

カノーブス、CANOPUS / カノーブス、EDIUS およびそのロゴはカノーブス株式会社の登録商標です。

エディウスJはカノーブス株式会社の商標です。

Microsoft®、Microsoft® Windows®、Windows® Media Player® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国や地域における登録商標または商標です。

QuickTime および QuickTime ロゴは、ライセンスに基づいて使用される商標です。

Real Media は Real Audio®、Real Video® の総称であり、Real Networks, Inc. の商標または登録商標です。

その他の製品名や会社名は、各社の商標または登録商標です。



表記について



■ 本書に記載されていない情報が記載される場合がありますので、ディスクに添付のテキストファイルも必ずお読みください。

■ 本書での説明と実際の運用方法とで相違点がある場合には、実際の運用方法を優先するものとします。

■ 本書はパソコンの基本的な操作を行うことができる方を対象に書れています。特に記載の無い操作については、一般的なパソコンの操作と同じように行ってください。

■ 本書では Microsoft® Windows® operating system、および Microsoft® Windows® XP operating system を Windows、Windows XP (Home Edition および Professional の総称) と表記します。

警告

■ 健康上のご注意

ごくまれに、コンピュータのモニタに表示される強い光の刺激や点滅によって、一時的に てんかん・意識の喪失などが引き起こされる場合があります。こうした経験をこれまでになされたことがない方でも、それが起こる体質をもっていることも考えられます。こうした経験をお持ちの方や、経験をお持ちの方の血縁にあられる方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。

■ 著作権について

テレビ放送やビデオなど、他人の作成した映像 / 音声をキャプチャしたデータは、動画、静止画に関わらず個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。また、個人として楽しむ目的であっても複製が制限されている場合があります。キャプチャしたデータのご利用に対する責任は当社では一切負いかねますのでご注意ください。

Canopus Web サイト

最新情報やサポート情報は www.canopus.co.jp

最新の製品情報に加え、便利なサービスや耳寄りなニュースが満載。

より快適にエディウスJをお使いいただくために、ぜひ当社のホームページをご覧ください。

(www.canopus.co.jp)

製品情報

カノープス製品の特長やスペック、最新の動作環境確認情報などを掲載しています。

新製品の情報もいち早くご覧いただけます。

サポート&サービス

お知らせ

製品に関するお問い合わせ先や、各種サポート&サービス情報を掲載しております。情報は適宜アップデートされます。

FAQ

ユーザーの皆様からいただいたご質問を製品ごとに分類してご提供しています。カノープス製品をより楽しむためのヒントが見つかります。

サポートフォーラム

カノープス製品に関するお問い合わせを Web フォームから受け付けております。

また、お客様同士の情報交換のためのユーザーフォーラムもご用意しています。

ユーザー登録・変更

ユーザー登録がブラウザ上で行えます。登録内容の変更・確認もできます。(一部未対応の製品もあります)

ダウンロード

最新のドライバ・アプリケーションソフトウェアはこちらのページからダウンロードできます。カノープス製品のマニュアル (PDF 形式) のダウンロードもご提供しています。

映像ワークストア

カノープス 映像ワークストアのサイトから、カノープス製品のご購入お申し込みができます。お近くに取扱店がない方は、ぜひご利用ください。

ユーザーサポートについて

※ ユーザーサポートについては、ご購入いただいたエディウスJのモデルにより異なります。サポートの詳細に関しては、別冊子をご覧ください。

個人情報の取扱いについて

当社では、原則として①ご記入いただいたお客様の個人情報は下記の目的以外では使用せず、②下記以外の目的で使用する場合は事前に当該サービス上にてお知らせいたします。

当社ではご記入いただいた情報を適切に管理し、特段の事情がない限りお客様の承諾なく第三者に開示・提供することはございません。

1. ご利用の当社製品のサポートの実施
2. 当社製品の使用状況調査、製品改良、製品開発、サービス向上を目的としたアンケートの実施
*調査結果を当社のビジネスパートナーに参考資料として提供することがありますが、匿名性を確保した状態で提供いたします。
3. 銀行口座やクレジットカードの正当性、有効性の確認
4. ソフトウェアのバージョンアップや新製品の案内等の情報提供
5. 懸賞企画等で当選された方お客様への賞品の発送
*お客様の個人情報の取扱いに関するご意見、お問い合わせは <http://www.canopus.co.jp/info/> までご連絡ください。

エディウスJ

ユーザーズマニュアル

January 25, 2007

Copyright © 2007 Canopus Co., Ltd.

All rights reserved.

無断転載を禁ず

目次

Chapter1 ビデオ編集を始める

- 1-1 ビデオ編集の基礎知識 2
- 1-2 エディウスJを起動する..... 4
- 1-3 プロジェクトを新規作成する 6
- 1-4 プロジェクトファイルを開く 8
- 1-5 プロジェクトファイルを保存する 10
- 1-6 DVD の作成..... 12

Chapter2 カメラから取り込む

- 2-1 キャプチャ..... 16
- 2-2 カメラの接続 17
- 2-3 カメラの操作 (デッキコントロール)..... 19
- 2-4 ビデオをパソコンに取り込む (キャプチャ)..... 20
- 2-5 クリップの自動分割について..... 23

Chapter3 ファイルを取り込む

- 3-1 ロード 26
- 3-2 CD から取り込む 27
- 3-3 DVD ビデオから取り込む 31
- 3-4 フォルダから取り込む 35

Chapter4 ビデオを並べる

- 4-1 ストーリーボード 38
- 4-2 ストーリーボードにクリップを登録する..... 39

4-3	クリップの途中で別のクリップを挿入する	40
4-4	クリップの順番を入れ替える	42
4-5	ストーリーボードのクリップを削除する	43
4-6	クリップボードに切り取る	44
4-7	クリップボードにコピー	45
4-8	カーソル位置に貼り付け	46
4-9	クリップのつなぎ効果(トランジション)を設定する	48
4-10	映像を調整する(ビデオフィルタ)	50

Chapter5 編集する

5-1	タイムライン	54
5-2	タイムラインの機能	59
5-3	タイムラインにクリップを登録する	64
5-4	クリップの不要な部分を削除する(トリミング)	76
5-5	クリップのつなぎ効果(トランジション)を設定する	82
5-6	クリップの再生速度を変更する	85
5-7	映像を調整する(ビデオフィルタ)	86
5-8	子画面を表示する	88
5-9	音量を調整する(オーディオ設定)	92
5-10	タイトルの作成	94
5-11	タイトルエフェクトの設定	101
5-12	アフレコ	102
5-13	全体をレンダリング	104
5-14	現在位置のフレームを Bin に追加	106

Chapter6 DVD を作る

6-1 Canopus DVD Creator	108
6-2 DVD メニューを作成する	110
6-3 DVD を作成する	116

Chapter7 エディウスJの画面操作と機能

7-1 メニューバーの項目と説明	120
7-2 ポップアップメニューの項目と説明	121
7-3 設定ダイアログ	124

Chapter

1

ビデオ編集を始める



- 1-1 ビデオ編集の基礎知識
- 1-2 エディウスJを起動する
- 1-3 プロジェクトを新規作成する
- 1-4 プロジェクトファイルを開く
- 1-5 プロジェクトファイルを保存する
- 1-6 DVDの作成



1-1 ビデオ編集の基礎知識

エディウスJはDVビデオ、HDVビデオを編集するためのアプリケーションです。

直感的で手軽にビデオ編集を行うことができます。

エディウスJの高度な機能を活用すれば、テレビや映画のようなムービーを製作することも可能です。

この章では、エディウスJを使ってビデオ編集をしていく上での基礎知識と、ビデオ編集の概要を説明します。

ノンリニア編集の概要

テープからテープへの編集がリニア（実時間）編集と呼ばれるのに対し、パソコンを使ったビデオ編集「ノンリニア編集」は、時間軸の制約を受けず自由に編集を行うことができ、リニア編集と比べて作業効率が格段に向上します。

DV機器、HDV機器で撮影（録画、録音）した映像、音声などの素材をパソコンに取り込み、エディウスJで編集することができます。

- ・ 不要な場面をカットしたり、複数の場面をつなげたりなど、素材（映像、音声）を加工する
- ・ タイトルを入れる
- ・ 画面や場面の切り替え時に効果を加える

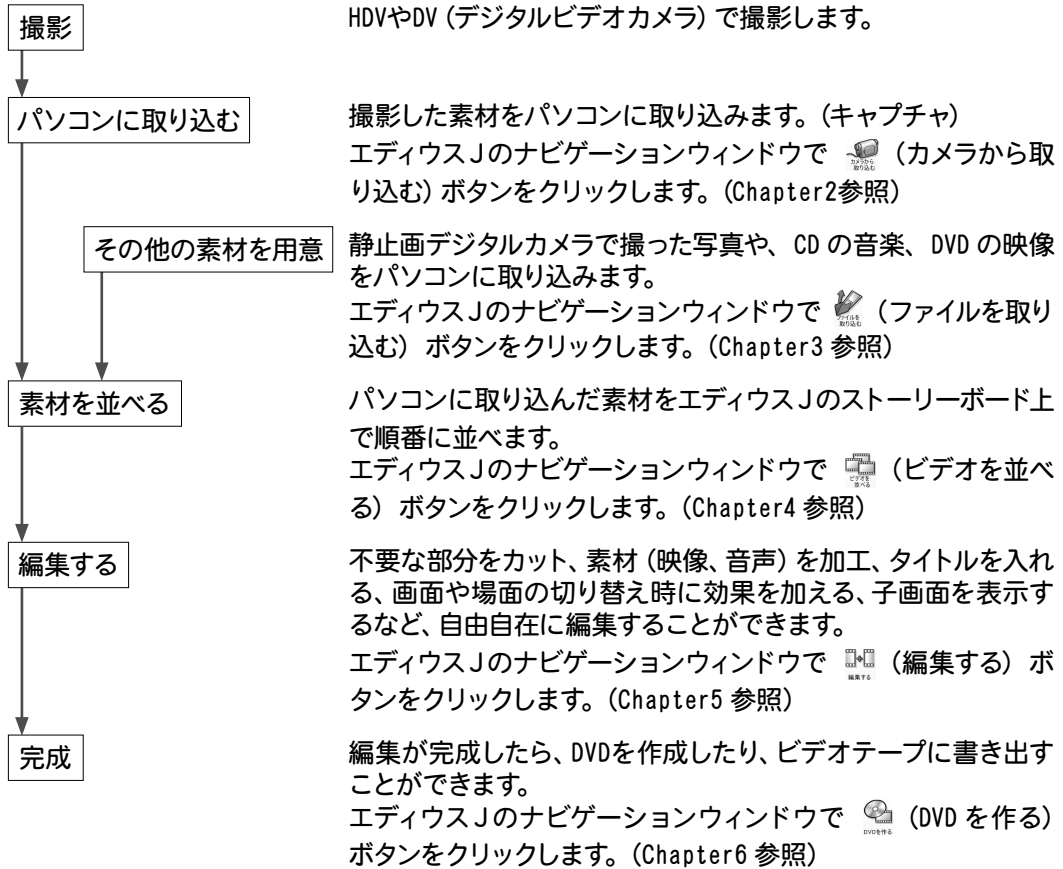
・ パソコンに取り込んだ映像について

パソコンにファイルとして取り込んだ（キャプチャした）ビデオ編集用の録画データは、ファイルとは呼ばずに「クリップ」と呼びます。同じ内容の録画データが、パソコン内部では「ファイル」となり、編集段階では「クリップ」と呼ばれます。たとえば、「クリップを削除する」と言えばエディウスJに取り込んで編集中の録画データを削除することであるのに対し、「ファイルを削除する」と言えば、パソコン内にキャプチャされた録画データを削除することを意味しています。

エディウスJで取り込んだクリップはDVの場合、「AVIファイル」と呼ばれる形式のファイルです。マイクロソフト社の「AVI 2.0」という形式で取り込まれ、ファイルサイズは映像10分あたり、約2GBの大きさになります。

また、HDVの場合のクリップは「MPEG-TS(m2t)ファイル」になり、ファイルサイズは映像10分あたり約2GBの大きさになります。

エディウスJでの編集の流れ



ナビゲーションウィンドウ

1-2 エディウスJを起動する

エディウスJは、次のいずれかの方法で起動することができます。

- 「スタート」メニューから起動する方法

[スタート] ボタンをクリックし、[すべてのプログラム] > [エディウスJ]の順に選択します。

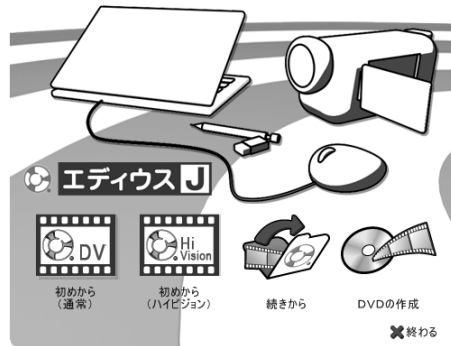


- デスクトップのショートカットアイコンから起動する方法

デスクトップのショートカットアイコンをダブルクリックします。



<「スタート」画面>



DV編集用プロジェクトを新規作成する場合に選択します。



HDV (ハイビジョン) 編集用プロジェクトを新規作成する場合に選択します。



続きから

保存されているプロジェクトを読み込み、編集を続ける場合に選択します。



DVDの作成

保存されているプロジェクトを読み込み、DVDを作成する場合に選択します。



✕ 終わる

エディウスJを終了します。

1-3 プロジェクトを新規作成する

ビデオ編集をするためのプロジェクトファイルを新規作成します。

- 1 エディウスJの「スタート」画面で、(初めから)を選択します。

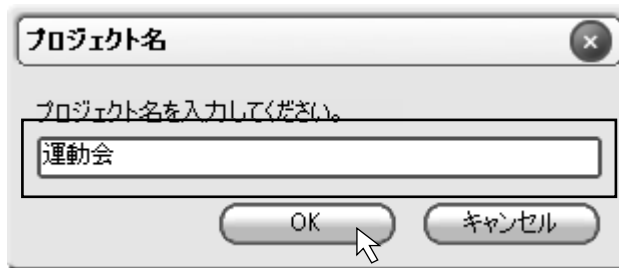


デジタルビデオカメラで撮影したDV形式のビデオを編集するためのプロジェクトを作成します。



ハイビジョン対応デジタルビデオカメラで撮影したHDV形式のビデオを編集するためのプロジェクトを作成します。

- 2 プロジェクト名を入力し、 ボタンをクリックします。



- 3 キャプチャ画面が表示されます。



プロジェクトとは

「プロジェクト」とは、1つの作品の編集作業の情報が記録されたファイルのことです。「運動会」「自由研究」など、わかりやすいプロジェクト名を付けて保存しておけば、同時期に1つのパソコンの中で複数の作品を編集する際に、作業が容易になります。プロジェクトには、作業状況、編集中のクリップ情報などが記録されていますが、映像クリップ、音声クリップ自体は含まれていません。編集中のクリップ(ファイル)の保存先が変更された場合には、クリップとして使用しているファイルへのリンクが外れてしまい、編集中のクリップが正しく呼び出せなくなりますのでご注意ください。

**ヒント**

プロジェクトを新規作成した場合、[マイドキュメント]-[エディウスJ]のフォルダ内に、プロジェクト名のついたフォルダが作成されます。


プロジェクトファイル (ezpの拡張子のついたファイル) やカメラから取り込んだビデオファイル (p.20参照)、作成した静止画ファイル (p.106参照) は、このフォルダ内に保存されます。

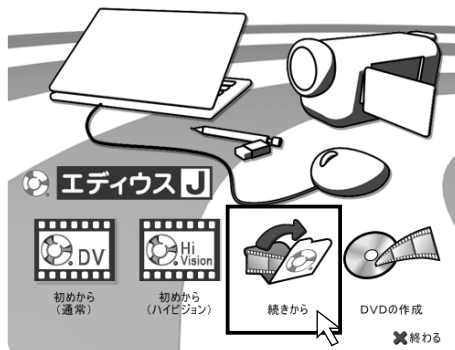
また、エディウスJで編集を進めると、このフォルダの中に次のフォルダが作成されます。

Project	オートセーブされたプロジェクトファイル、プロジェクトバックアップファイルが保存されています。
rendered	レンダリングクリップが保存されています。
title	作成したタイトルクリップが保存されています。
DVD	DVD作成時に処理ファイルが作成されます。

1-4 プロジェクトファイルを開く

保存されているプロジェクトを読み込み、ビデオ編集を続けます。

- 1 エディウスJの「スタート」画面で、 (続きから) をクリックします。



- 2 「最近使ったプロジェクト」ダイアログが表示されます。



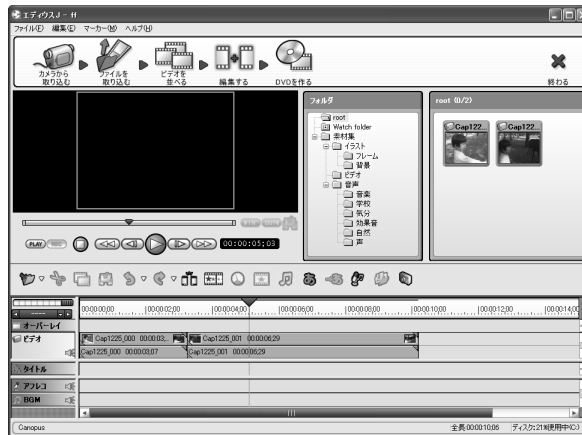
最近使ったプロジェクトの一覧が表示されます。表示されているプロジェクト名をクリックすると、そのプロジェクトが開きます。

「最近使ったプロジェクト」一覧に表示されていないプロジェクトを開く場合にクリックします。

- 3 「ファイルを開く」ダイアログが開きます。
開きたいプロジェクトを選択し、 **開く(O)** ボタンをクリックします。




- 4 プロジェクトが開きます。



1-5 プロジェクトファイルを保存する

編集中のプロジェクトを保存します。[名前を変更して保存]で、作業ファイルの保存先を変更することもできます。

プロジェクトの保存

- 1 エディウスJの画面で  (プロジェクトの保存) ボタンをクリックします。





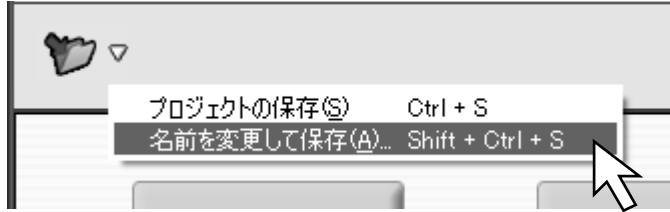
- 2 編集中のプロジェクトが上書き保存されます。

*初期状態では[マイドキュメント]- [エディウスJ] - [(プロジェクト名)]のフォルダ内に、ezpの拡張子付きのファイルとして保存されます。

名前を変更して保存

プロジェクト名を変更して保存します。Cドライブの空き容量が少ない時や、Dドライブでプロジェクトやキャプチャファイルを配置したい場合に、プロジェクトの保存先としてDドライブに指定することができます。

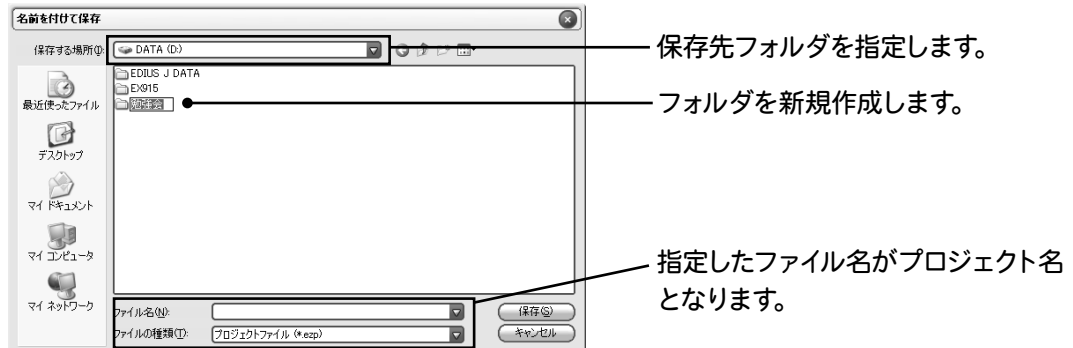
- 1 エディウスJの画面で  (プロジェクトの保存) ボタンの  をクリックし、[名前を変更して保存]を選択します。



- 2 「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。

保存先、プロジェクトファイル名を指定します。

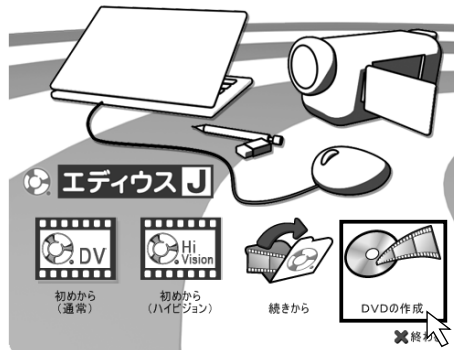
*カメラから取り込んだビデオファイル、作成した静止画ファイル、その他の作業ファイルは、ここで指定した保存先フォルダ内に作成・保存されます。



1-6 DVDの作成

パソコンに保存されている編集の完了したプロジェクトからDVDを作成します。

- 1 エディウスJの「スタート」画面で、 (DVDの作成) をクリックします。



- 2 「最近使ったプロジェクト」ダイアログが表示されます。



最近使ったプロジェクトの一覧が表示されます。表示されているプロジェクト名をクリックすると、Canopus DVD Creatorが開きます。

「最近使ったプロジェクト」一覧に表示されていないプロジェクトを開く場合にクリックします。

- 3 「ファイルを開く」ダイアログが開きます。
開きたいプロジェクトを選択し、**開く(O)** ボタンをクリックします。



- 4 Canopus DVD Creatorダイアログが表示されます。
DVDの作成方法については、「Chapter6 DVDを作る」を参照してください。





Chapter

2

カメラから取り込む




- 2-1 キャプチャ
- 2-2 カメラの接続
- 2-3 カメラの操作 (デッキコントロール)
- 2-4 ビデオをパソコンに取り込む
(キャプチャ)
- 2-5 クリップの自動分割について



2-1 キャプチャ

カメラで撮影したビデオをパソコンに取り込みます。



ビデオをパソコンに取り込むことを、「キャプチャ」と呼びます。

ヒント

〈キャプチャ画面〉

再生、早送り、次のフレームに移動など、このボタンでカメラをコントロールできます。

このボタンをクリックすると、いつでもこの画面を呼び出せます。

現在のテープ位置の映像が表示されます。

取り込んだクリップは、ここで選択したフォルダに登録されます。

取り込んだビデオが、ここにアイコンで表示されます。

現在のテープ位置のタイムコード (p.18 参照) が表示されます。

キャプチャする際に、シーンごとにファイルを分けるか、分割しないで1つのファイルとしてキャプチャするかを選べます。

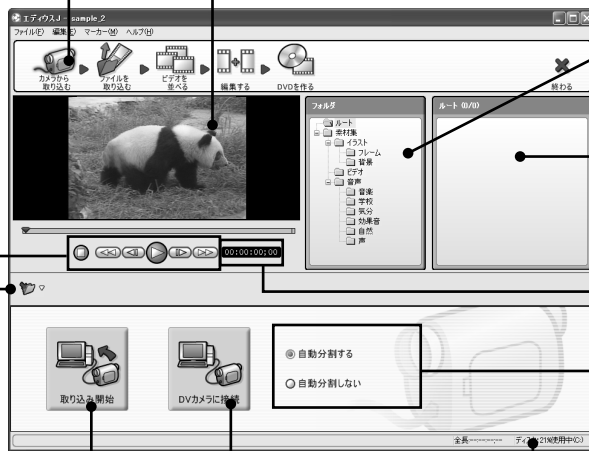
現在のテープ位置から、取り込みをはじめます。

指定した保存先で、キャプチャ可能な時間が表示されます。

現在のプロジェクトを保存します。

カメラを新たに接続したときなど、カメラが正しく認識できなかった場合はこのボタンで再接続します。

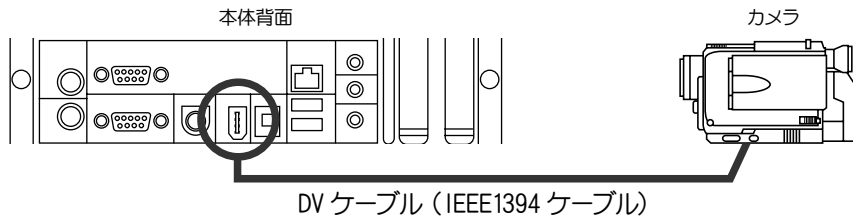
HDV用プロジェクトではボタンが  (HDVカメラに接続) となります。



2-2 カメラの接続

カメラをパソコンに接続します。

1 パソコンとカメラを、IEEE1394ケーブルで接続します。



2 接続したカメラの電源を入れ、再生モード（デッキモード）に合わせます。

*再生モードに変更する方法についてはカメラの使用説明書をご覧ください。



注意

HDVカメラを接続した場合には、使用するビデオ形式に合わせ、DV/HDVの出力設定をDVまたはHDVIに切り替えてください。出力方式がエディウスJのキャプチャ設定と異なる方式や、「自動」になっていると、HDVカメラを正しく認識することができません。

3 エディウスJのキャプチャ画面で、(再生) ボタンを押して、カメラが再生できるか確認します。



再生ボタンをクリックすると、カメラの再生が始まり、映像がプレビュー画面に表示されます。

*HDV用プロジェクトでは (HDVカメラに接続) のボタンが表示されます。



4 カメラの再生が正しく行われれば、接続は完了です。




注意

カメラが認識されない場合には、次のような原因が考えられます。

- ・DVケーブルが正しく接続されていない。(手順1を参照)
- ・カメラの電源が入っていない。(手順2を参照)
- ・カメラが撮影モードになっている。(手順2を参照)
- ・カメラの出力フォーマットが不正。(手順2の「注意」を参照)
- ・カメラにテープがセットされていない。

以上の項目を確認後、 ・  (カメラに接続) ボタンをクリックしてください。

もう一度、 (再生) ボタンを押して、テープが再生されることを確認します。



ヒント

タイムコード

デジタルビデオカメラで撮影したテープには、録画の際にその録画位置を表示するタイムコードが自動的に記録されます。連続して録画すると、このタイムコードは最初 (00:00:00;00) から最後まで連続した時間が記録されますので、そのテープ内のすべての録画位置を一連の時間で管理できます。

00:00:00;00

↑ ↑ ↑ ↑
時 分 秒 フレーム

テープを操作する際に、タイムコードを指定して移動すれば、フレーム (ビデオ画像の一コマ) 単位で、目的の位置を頭出しすることができます (「タイムコードでジャンプ」p.22参照)。

2-3 カメラの操作 (デッキコントロール)

接続したカメラの再生、停止などの動作をパソコンの画面上で行うこと (デッキコントロールと呼びます) ができます。



プレビューウィンドウ

再生中のテープの映像がここに表示されます。

コントロールパネル

停止、巻き戻し、前のフレームに移動、再生、次のフレームに移動、早送りができます。

*HDV用プロジェクトでは (HDVカメラに接続) のボタンが表示されます。



<コントロールパネル>



ヒント

早送り、巻き戻しの速度

早送りや巻き戻し時に、 (巻き戻し) ボタン、 (早送り) ボタンを押すことで、巻き戻し、早送りの速度を段階的に変えることができます。

同じボタンを連続して押すと速度が段階的に速くなり、逆方向のボタン (早送り時に ボタン、巻き戻し時に ボタン) を押すと遅くなります。

2-4 ビデオをパソコンに取り込む (キャプチャ)


接続したカメラにセットしたテープから、ビデオをパソコンに取り込みます。

- 1 コントロールパネルを操作し、取り込みたい箇所を頭出しします。



プレビューウィンドウ
キャプチャを開始したい位置の映像
を表示させます。

テープを操作

- 2  (取り込み開始) ボタンをクリックします。



*HDV用プロジェクトでは (HDVカメラ
に接続) のボタンが表示されます。



ヒント

ビデオの取り込みは実際に使用する箇所の少し手前から
ビデオを取り込むときには、実際に使いたい映像の少し手前から取り込み
を行きましょう。あるシーンの先頭のフレームから取り込んで使用したい
場合は、[自動分割する]設定で、生成されたファイルのうち、分割された最
初のファイルを削除すれば、シーンの最初のフレームからキャプチャされ
た状態のクリップが生成されます。




ヒント

取り込みを始める前にBinのフォルダウィンドウで、クリップを登録するフォルダを指定しておく、クリップを場面ごと、テープごと、撮影者ごとに分類することができます。

*クリップの登録先フォルダを作成するには、ルートフォルダ上で右クリックして、表示されるメニューで「新規フォルダ」を選択します。(p.122参照)

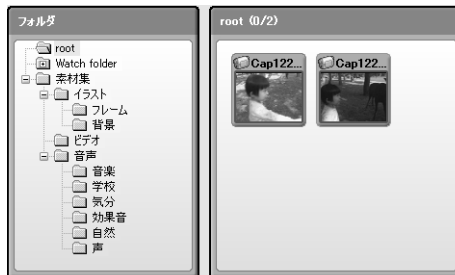


3 ビデオの取り込みが始まります。

プレビューウィンドウで進行状況を確認し、取り込みたいところまでテープが進んだところで、 ボタンをクリックして取り込みを終了します。



4 取り込んだクリップは自動的にBinに登録されます。





ヒント

タイムコードでジャンプ

表示されているタイムコードをダブルクリックしタイムコードを指定すると、テープの頭出しをすることができます。



テープのタイムコードを指定します。

ジャンプ(J) ボタンをクリックして、指定したタイムコードに移動します。



ヒント

取り込んだファイルの保存先

キャプチャしたファイルは、プロジェクトファイルの保存先と同じフォルダに保存されます。初期状態では、[マイドキュメント] - [エディウス] のフォルダ内にある作業中のプロジェクト名のついたフォルダに保存されます。



2-5 クリップの自動分割について

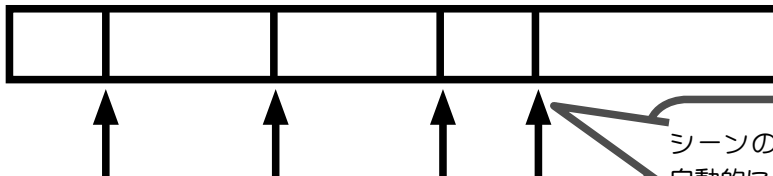
撮影済みのテープからビデオをパソコンに取り込む際に、1つのファイルとして取り込むか、シーンごとに分割されたファイルとして保存するかを選択することができます。



*HDV用プロジェクトでは (HDVカメラに接続) のボタンが表示されます。

• 自動分割する

テープに記録されている撮影日時やタイムコードの情報が前後のフレームで変化する箇所で、キャプチャ中のファイルが自動的に分割され、それぞれ個別のファイルとして作成されます。撮影したビデオには、シーンの前後などに不要な場面が含まれている場合が多いため、通常はシーンごとに分割して取り込んでおいたほうが、あとで編集がやり易くなります。



シーンの切れ目ごとに、自動的に分割されてクリップが作成されます。

• クリップを分割しないで取り込む


取り込みの開始地点から終了地点までを1つのファイルとして取り込みます。撮影したテープごとに1つのファイルにまとめて取り込みたい場合などに利用します。録画状態などに問題がある場合、やむを得ずファイルを分割して取り込むこともあります。



キャプチャした範囲が1本のクリップになります。



ヒント

カメラやテープの状態によっては、期待されるような分割がうまく行われない可能性があります。そのような場合は、[自動分割しない]を選択してすべての映像を取り込んでから、タイムライン画面の  (カットポイントの追加) ボタンでカット編集を行ってください。

Chapter

3

ファイルを取り込む



3-1 ロード

3-2 CD から取り込む

3-3 DVD ビデオから取り込む

3-4 フォルダから取り込む



3-1 ロード

写真やCDの音楽、DVDの映像をパソコンに取り込みます。

<ロード画面>

このボタンをクリックすると、いつでもこの画面を呼び出せます。

取り込んだクリップは、ここで選択したフォルダに登録されます。

取り込んだビデオが、ここにアイコンで表示されます。

現在のテープ位置のタイムコードが表示されます。

再生、早送り、次のフレームに移動など、PLAYERモード (p.19 参照) で素材ファイル进行操作します。

CD や音楽を素材として取り込んだり、DVD からビデオを取り込んだりします。


パソコンに保存されているファイルを、編集用素材として読み込みます。

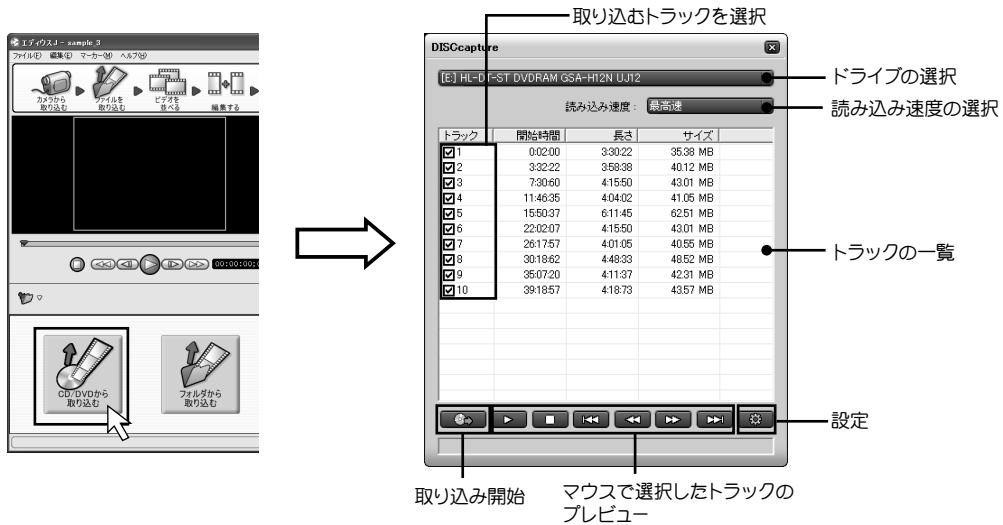
現在のプロジェクトを保存します。

3-2 CDから取り込む

音楽CDから、パソコンにオーディオ素材として取り込むことができます。
*コピーガードのかかったCDからデータを取り込んで使用することはできません。

1 データを取り込みたいCDをCD-ROMドライブにセットします。

2  (CD/DVDから取り込む) ボタンをクリックします。
「DISCcapture」ダイアログが開きます。

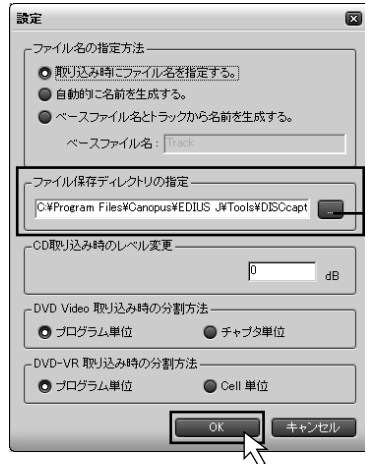


3  (設定) ボタンをクリックします。



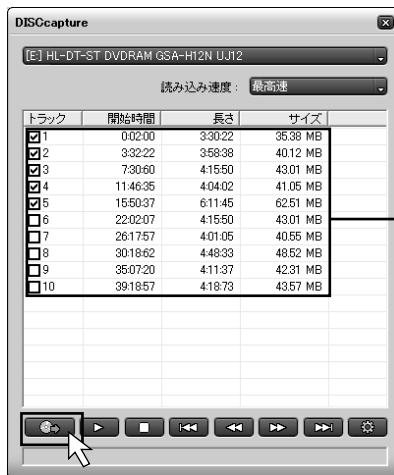
4 取り込みが完了したファイルの保存場所を指定して ボタンをクリックします。

*クリップの取り込み方法の詳細設定については、p.132を参照してください。



[...] をクリックして、ファイルの保存場所を指定します。

5 取り込みたいトラックを選択して (取り込み) ボタンをクリックします。



取り込みたいトラックにチェックを入れます。

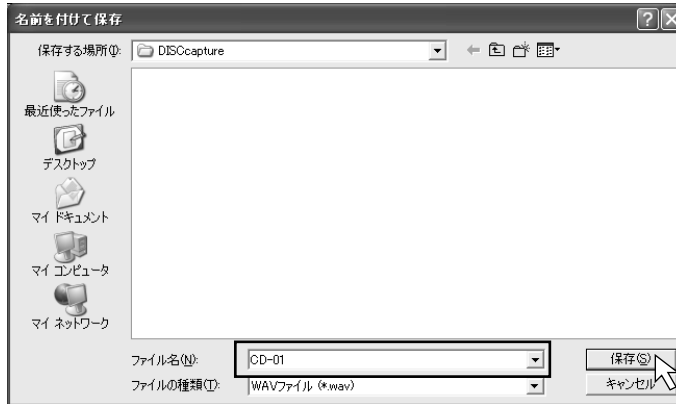


一覧上で右クリックして表示されるメニューで、[すべてのトラックを選択する]、[すべてのトラックの選択を解除する]ことができます。

6 名前をつけて保存ダイアログが表示されます。

ファイル名を入力して、**保存(S)** ボタンをクリックします。

*設定ダイアログで「ファイル名の指定方法」-「自動的に名前を生成する。」を選択している場合、保存ダイアログは表示されません。




7 取り込みが始まります。

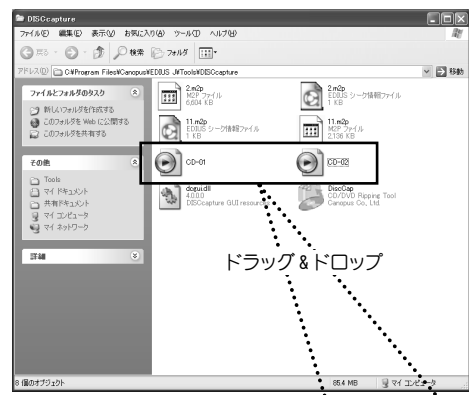


8 取り込みが完了すると、以下のダイアログが表示されます。



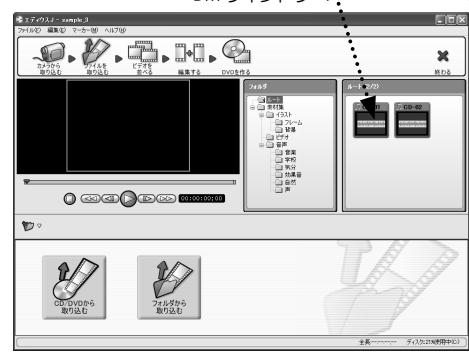


CDから取り込んだオーディオファイルは、手順4で指定したフォルダに作成されます。エディウスJで編集するには、（フォルダから取り込む）ボタンでBinウィンドウに取り込むか（p.35参照）、フォルダを開いてドラッグ & ドロップでBinウィンドウ、タイムラインに取り込んでください。

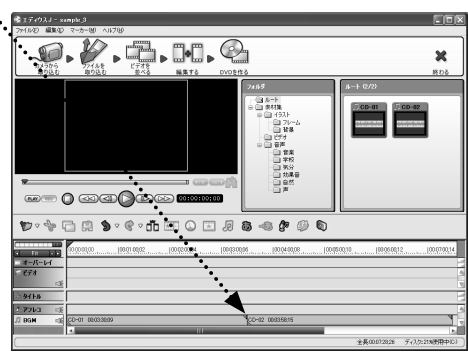


ドラッグ&ドロップ

Bin ウィンドウへ




タイムラインへ

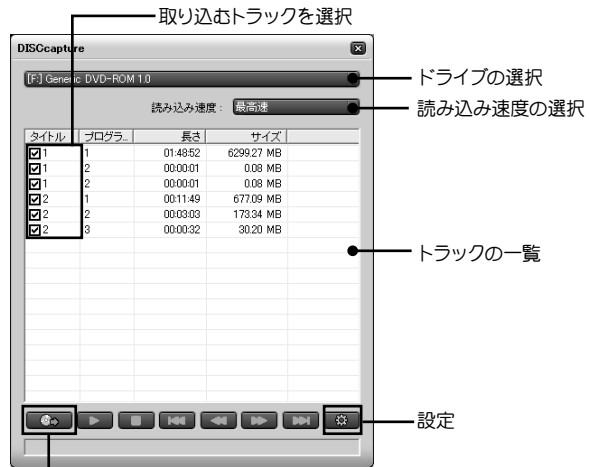
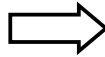
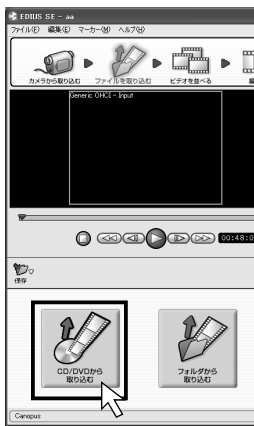


3-3 DVDビデオから取り込む


DVDビデオに記録されているビデオを、パソコンにクリップとして取り込むことができます。
*コピーガードのかかったDVDからデータを取り込んで使用することはできません。

1 データを取り込みたいDVDビデオをDVD-ROMドライブにセットします。

2  (CD/DVDから取り込む) ボタンをクリックします。
「DISCcapture」ダイアログが開きます。



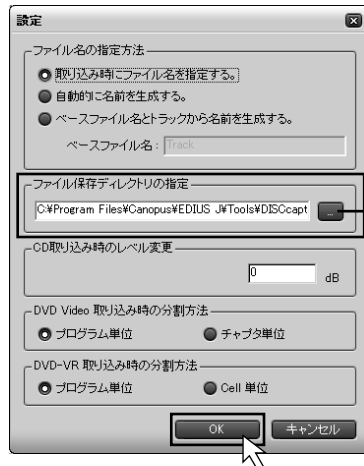
取り込み開始

3  (設定) ボタンをクリックします。



4 取り込みが完了したファイルの保存場所を指定して ボタンをクリックします。

*クリップの取り込み方法の詳細設定については、p.132を参照してください。



[...] をクリックして、ファイルの保存場所を指定します。

5 取り込みたいトラックを選択して (取り込み) ボタンをクリックします。



取り込みたいトラックにチェックを入れます。

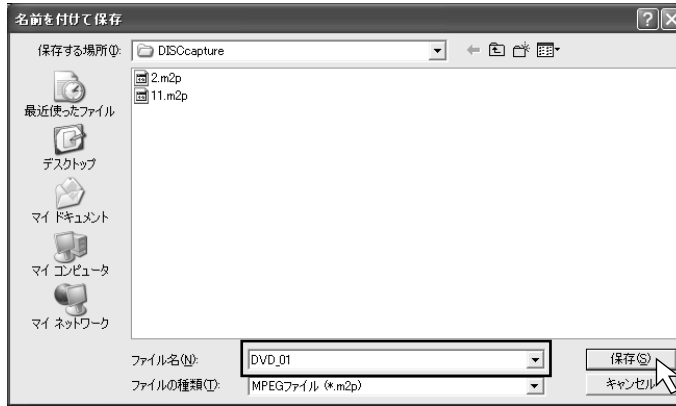


一覧上で右クリックして表示されるメニューで、[すべてのトラックを選択する]、[すべてのトラックの選択を解除する]ことができます。

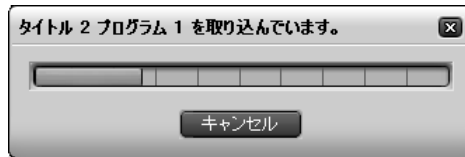
6 名前をつけて保存ダイアログが表示されます。

ファイル名を入力して、**保存(S)** ボタンをクリックします。

*設定ダイアログで「ファイル名の指定方法」 - 「自動的に名前を生成する。」を選択している場合、保存ダイアログは表示されません。




7 取り込みが始まります。

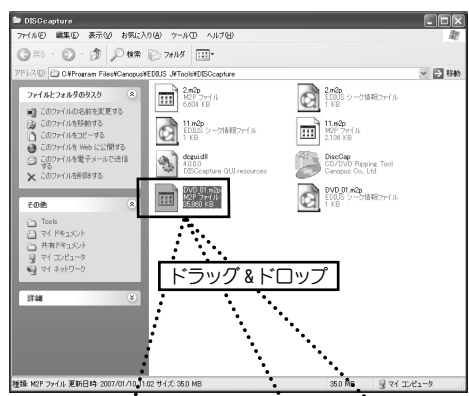


8 取り込みが完了すると、以下のダイアログが表示されます。

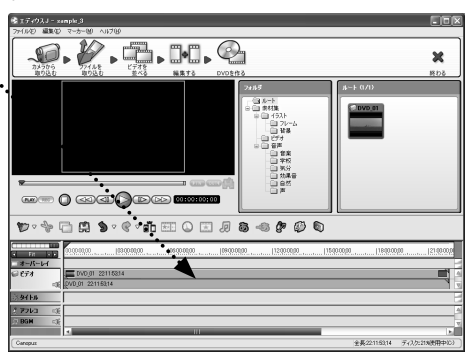
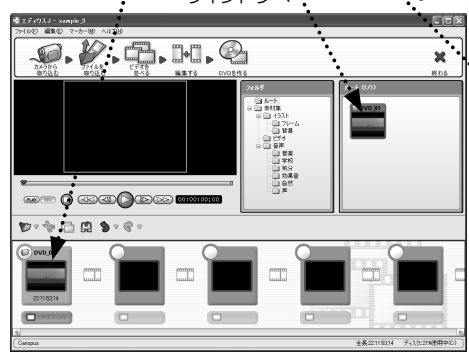




DVDから取り込んだファイルは、手順4で指定したフォルダに作成されます。エディウスJで編集するには、 (フォルダから取り込む) ボタンでBinウィンドウに取り込むか (p.35参照)、フォルダを開いてドラッグ&ドロップでBinウィンドウ、ストーリーボード、タイムラインに取り込んでください。




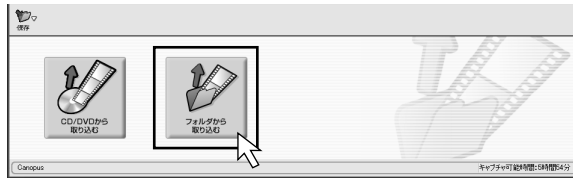
ストーリーボードへ Bin ウィンドウへ タイムラインへ



3-4 フォルダから取り込む

パソコン内に保存されているファイルを、編集素材として取り込みます。

- 1  (フォルダから取り込む) ボタンをクリックします。



- 2 取り込むファイルを選択し、  ボタンをクリックします。



複数のファイルを同時に選択することもできます。

スライダを動かして映像をプレビューできます。

3 取り込んだクリップがBinに登録されます。

**ヒント**

利用できるファイル形式

エディウス J では、次の形式のファイルをクリックとして取り込むことができます。

ビデオファイル

AVI (DV、HQ 形式)、MPEG1、MPEG2、Windows Media Video (wmv)、Adobe Flash (swf)、QuickTime (mov)

オーディオファイル (16bit / 48kHz、44.1kHz、32kHz)

WAV、MP3、Windows Media Audio (wma)、Dolby Digital (ac3)

画像ファイル

Windows BITMAP (bmp、dib、rle)、JPG (jpg、jpeg)、JFIF (jfif)、PICT (pic、pct、pict)、PNG (png)、Mac Paint (pntg、pnt、mac)、Photoshop (psd)、QuickTime Image (qti、qtif)、Silicon Graphics Image File (sgi、rgb)、TrueVision Targa (tga、targa、vda、icb、vst)、TIFF (tif、tiff)

タイトルファイル

Quick Titler (etl)

Chapter

4

ビデオを並べる



- 4-1 ストーリーボード
- 4-2 ストーリーボードにクリップを登録する
- 4-3 クリップの途中に別のクリップを挿入する
- 4-4 クリップの順番を入れ替える
- 4-5 ストーリーボードのクリップを削除する
- 4-6 クリップボードに切り取る
- 4-7 クリップボードにコピー
- 4-8 カーソル位置に貼り付け
- 4-9 クリップのつなぎ効果 (トランジション) を設定する
- 4-10 映像を調整する (ビデオフィルタ)



4-1 ストーリーボード

クリップを順番に並べることで編集中のビデオ全体の大まかな流れを作成します。ストーリーボードとは、ビデオトラックの内容を表示してクリップの並び順を確認したり、必要に応じてクリップの再配置を行うものです。

Binに登録したクリップをドラッグして、ストーリーボードに登録したり、クリップの並び順を変更したりして、大まかな流れを作成します。ストーリーボードを作成したあと、「タイムライン編集」画面でトリミング（不要なシーンの削除）を行ったり、タイトル（テロップ）を追加したりといった細部の調整を行います。

<ストーリーボード画面>

プレビューウィンドウのモードをPLAYERモード（素材クリップの映像を表示）、RECORDERモード（編集中の映像を表示）を切り替えます。

このボタンをクリックすると、いつでもこの画面を呼び出せます。



プレビューウィンドウここに編集結果が表示されます。

現在、読み込んでいるクリップが表示されます。

ビデオの画質や効果を設定します。

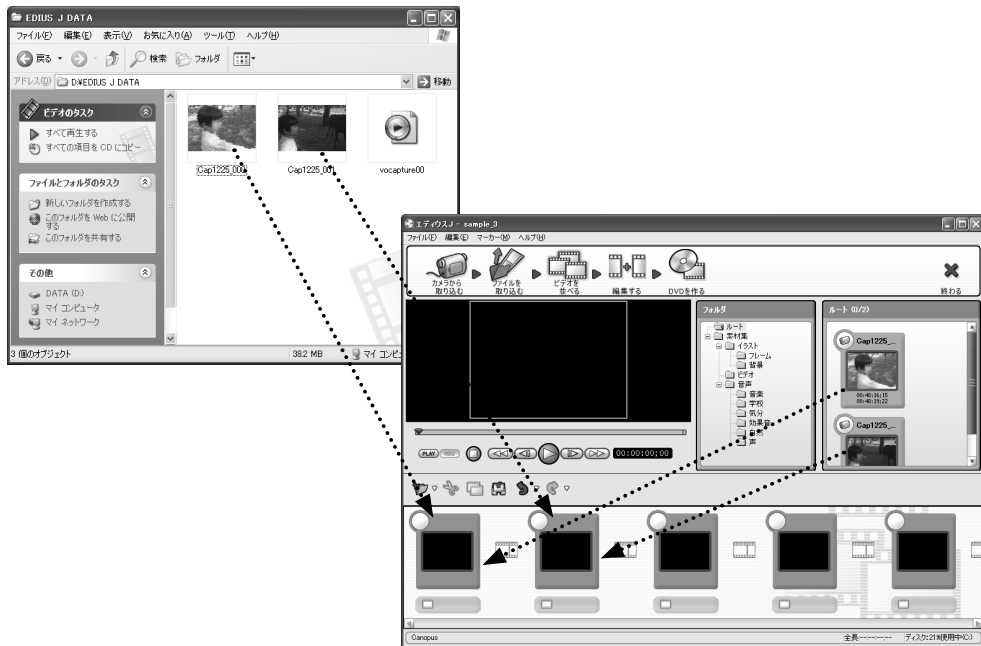
クリップのつなぎ効果（トランジション）を設定します。

ストーリーボードの編集を行うためのボタンです。

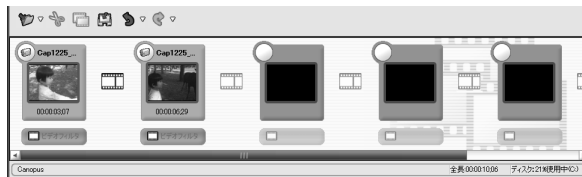
クリップを順番に並べます。順番を入れ替えたり、並べ替えたりしながらビデオ全体の大まかな流れを決定します。

4-2 ストーリーボードにクリップを登録する

- 1 クリップをストーリーボードに登録します。
Binウィンドウ上のクリップや、パソコンに保存されているファイルをドラッグ&ドロップします。

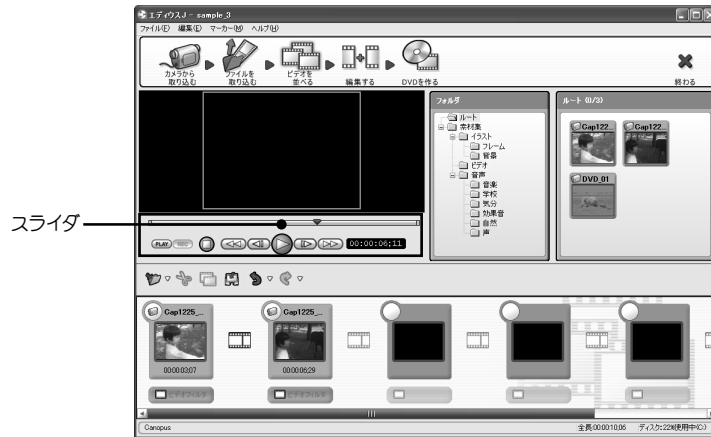


- 2 クリップがストーリーボードに登録されます。



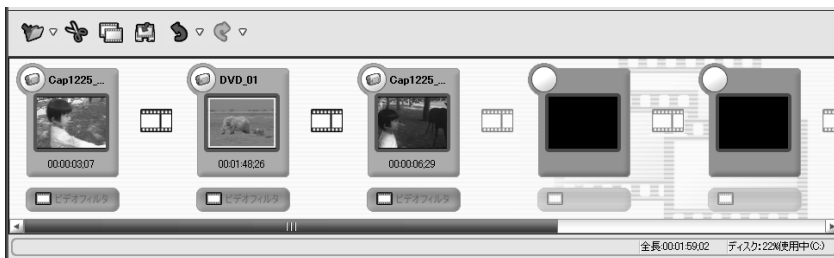
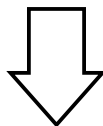
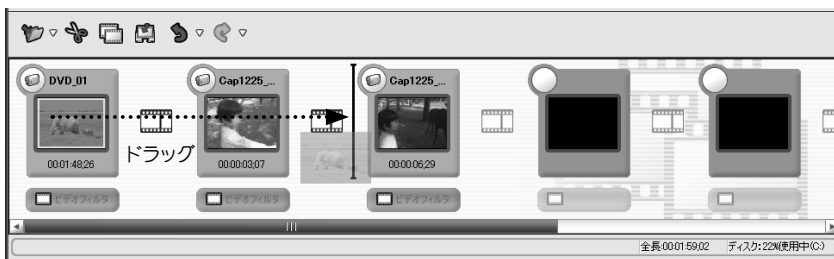
4-3 クリップの途中に別のクリップを挿入する


- 1 挿入地点を指定します。
コントロールパネル、またはスライダを操作し、プレビューウィンドウにクリップを挿入する位置に合わせます。



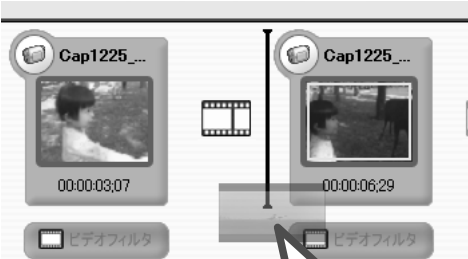
4-4 クリップの順番を入れ替える

1 順番を入れ替えたいクリップを、移動先にドラッグ&ドロップします。





ヒント



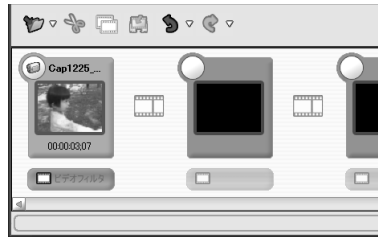
クリップをドラッグした際に、登録可能な場所には | マークが表示されます。

4-5 ストーリーボードのクリップを削除する


- 1 削除したいクリップ上で右クリックして、表示されるメニューで [削除] を選択します。



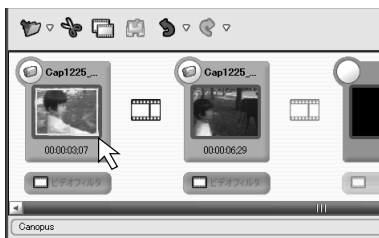
- 2 クリップが削除されます。




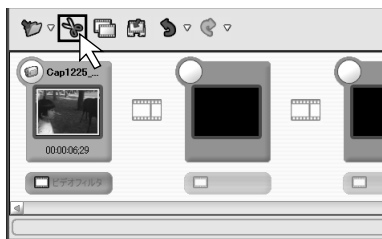
4-6 クリップボードに切り取る

ストーリーボードに登録されているクリップを削除し、クリップボードにコピーします。クリップボードにコピーしたクリップは、 (カーソル位置に貼り付け) ボタンで、位置を指定して貼り付けることができます。ストーリーボードに登録したクリップの場所を移動させたり、順番を入れ替えたりする場合に使用します。

1 切り取るクリップをクリックします。




2  (クリップボードに切り取り) ボタンをクリックします。



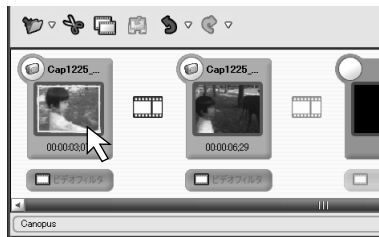
⇒ 「4-8 カーソル位置に貼り付け」へ

4-7 クリップボードにコピー

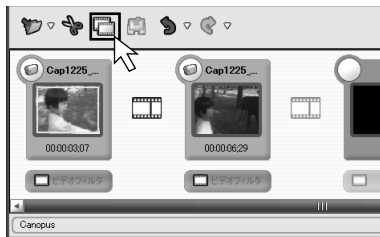
ストーリーボードに登録されているクリップを残したまま、クリップボードにコピーします。クリップボードにコピーしたクリップは、 (カーソル位置に貼り付け) ボタンで、位置を指定して貼り付けることができます。

同じクリップを何度も使いたい場合に使用します。

1 コピーするクリップをクリックします。



2 (クリップボードにコピー) ボタンをクリックします。




⇒ 「4-8 カーソル位置に貼り付け」へ

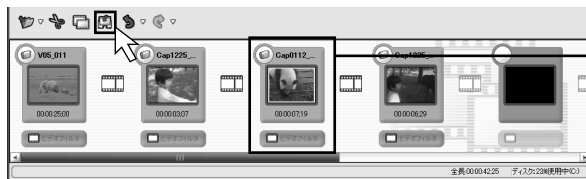
4-8 カーソル位置に貼り付け

クリップボードにコピーされているクリップを、場所を指定して貼り付けることができます。

- 1 コントロールパネル、またはスライダを操作し、クリップを貼り付ける位置に合わせます。



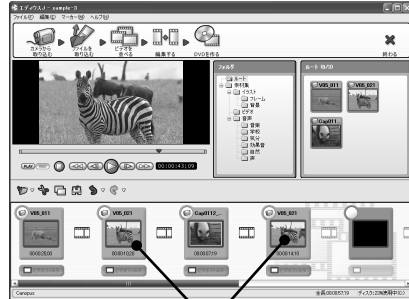
- 2  (カーソル位置に貼り付け) ボタンをクリックします。
クリップボードにコピーされていたクリップが、カーソル位置に貼り付けられます。



クリップボードにコピーされていたクリップが追加されます。




「貼り付け位置」として、あるクリップの途中の地点を指定した場合には、もともとあったクリップが指定した地点で分割され、クリップボードのクリップがその間に挿入されます。



分割されて、その間にクリップが挿入されます。

4-9 クリップのつなぎ効果 (トランジション) を設定する

前後の画面が徐々にオーバーラップして変化するディゾルブなど、場面と場面の切り替わり方法を設定することができます。

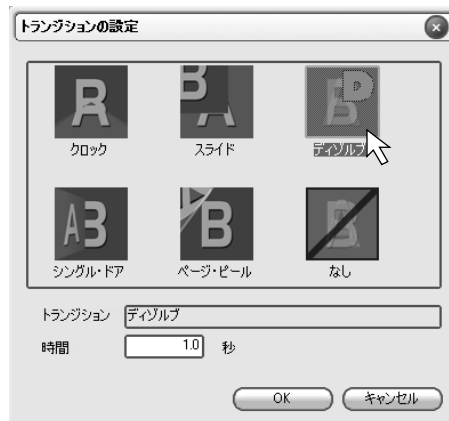
- 1  (トランジション設定) ボタンをクリックします。



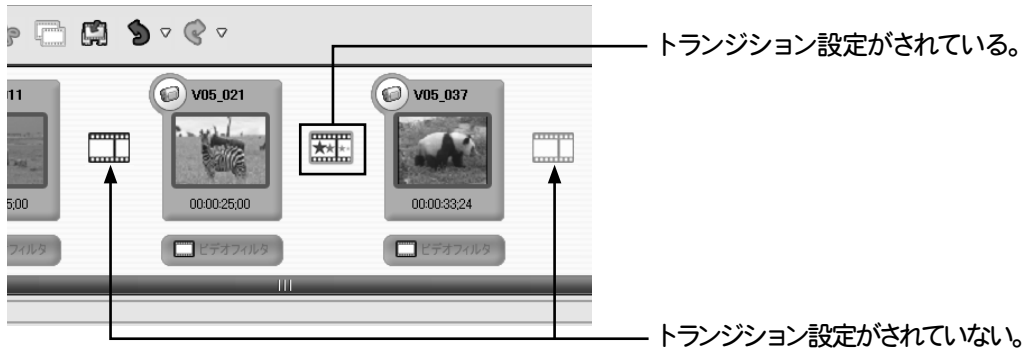
- 2 「トランジションの設定」ダイアログが表示されます。

トランジションの種類を選択して、 ボタンをクリックします。

*使用できるトランジションの種類については、「トランジションの設定」(p.130)を参照してください。

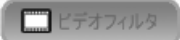


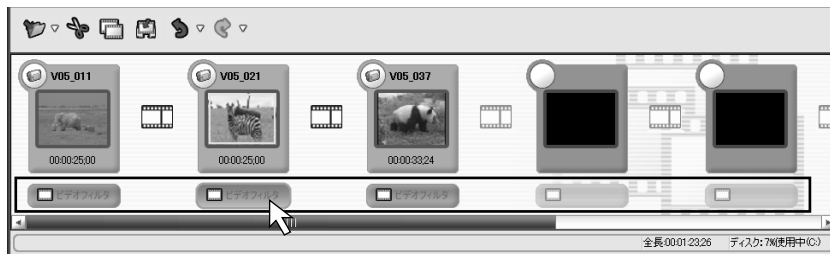
3 トランジションが設定されました。



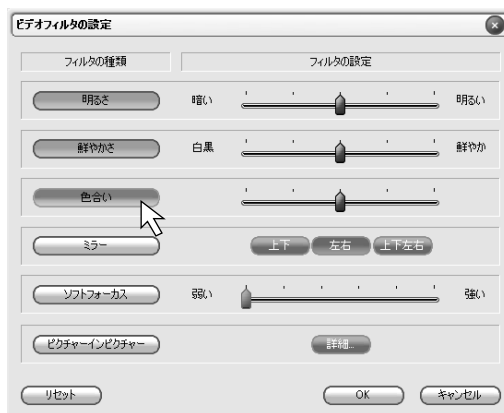
4-10 映像を調整する (ビデオフィルタ)

ビデオクリップの色や明るさを調整したり、様々な映像効果を追加することができます。

- 1  (ビデオフィルタ設定) ボタンをクリックします。

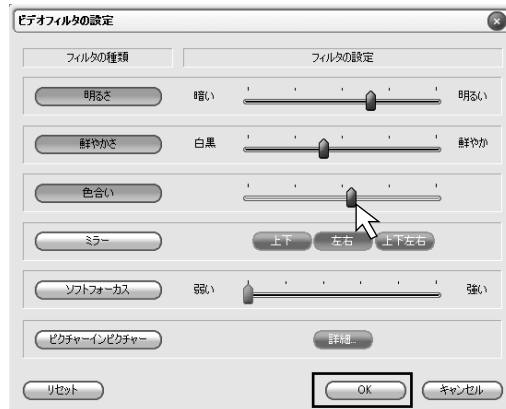


- 2 「ビデオフィルタの設定」ダイアログが表示されます。
適用するフィルタの種類をクリックして選択します。
*複数のフィルタを選択することもできます。

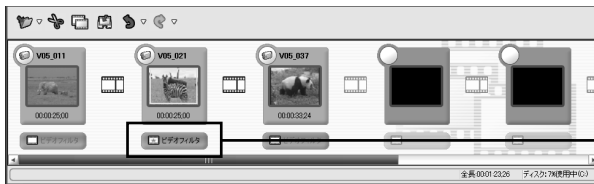


3 スライダーをドラッグして、フィルタの強さを調整し、**OK** ボタンをクリックします。

*使用できるビデオフィルタの種類については、「ビデオフィルタの設定」(p.128)を参照してください。



4 ビデオフィルタが設定されました。



ビデオフィルタが設定されると、青色にかわります。



編集する

- 5-1 タイムライン
- 5-2 タイムラインの機能
- 5-3 タイムラインにクリップを登録する
- 5-4 クリップの不要な部分を削除する (トリミング)
- 5-5 クリップのつなぎ効果 (トランジション) を設定する
- 5-6 クリップの再生速度を変更する
- 5-7 映像を調整する (ビデオフィルタ)
- 5-8 子画面を表示する
- 5-9 音量を調整する (オーディオ設定)
- 5-10 タイトルの作成
- 5-11 タイトルエフェクトの設定
- 5-12 アフレコ
- 5-13 全体をレンダリング
- 5-14 現在位置のフレームを Bin に追加

5-1 タイムライン

エディウスJで本格的な編集作業を行うには、タイムラインと呼ばれる編集専用の領域にクリップを貼り付けなくてはなりません。エディウスJでは、「ビデオ」と名づけられたトラックが編集の基本となり、Binウィンドウから必要なクリップをタイムラインに貼り付けては編集するという操作を行います。

<タイムライン画面>

プレビューウィンドウ
ここに編集結果が表示されます。

このボタンをクリックすると、いつでもこの画面を呼び出せます。

トラック名

タイムラインカーソル

タイムライン編集ボタン

現在、取り込んでいるクリップが表示されます。

コントロールパネル

マーカー
DVD 作成時にチャプタになります。



ヒント

ストーリーボードを作成してある場合には、すでにタイムラインにクリップが配置された状態になっています。



<コントロールパネル>



プレーヤーに切り替え

Binウィンドウ (p.62参照) 上で選択したクリップをプレビューウィンドウで再生して確認できるようになります (PLAYERモード)。



レコーダーに切り替え

編集中の作品をプレビューウィンドウで再生して確認できるようになります (RECORDERモード)。



停止

再生を停止します。



巻き戻し

巻き戻しを行います。連続で押すと巻き戻し速度が段階的に速くなります。早送り中に押すと、早送り速度が1段階遅くなります。



前のフレームに移動

直前のフレームを表示します。



再生

再生します。



次のフレームに移動

次のフレームを表示します。



早送り

早送ります。連続で押すと早送り速度が段階的に速くなります。巻き戻し中に押すと、巻き戻し速度が1段階速くなります。



ヒント

PLAYERモードとRECORDERモード

エディウスJのプレビューウィンドウには、PLAYERとRECORDERの2つのモードがあります。

PLAYERは、素材として使用するクリップを再生して確認するモードで、RECORDERは、編集中の作品を再生して確認するモードです。ビデオデッキを2台つなげてダビングする場合の再生 (PLAYER) 側と録画 (RECORDER) 側に相当します。

エディウスJのタイムライン画面では、通常、RECORDERモードに設定されています。PLAYERモードに切り替えることで、Binウィンドウに登録したクリップをタイムラインに貼り付ける前に再生して確認することができます。また、Binウィンドウのクリップの不要な部分を削除してからタイムラインに貼り付けることもできます (p.66参照)。

<タイムライン編集ボタン>



プロジェクトの保存

現在開いているプロジェクトを上書き保存します。



クリップボードに切り取り

選択中のクリップを削除して、クリップボードにコピーします。



クリップボードにコピー

選択中のクリップをクリップボードにコピーします。



カーソル位置に貼り付け

クリップボードにコピーしたクリップをタイムラインカーソルの位置に貼り付けます。



取り消し

直前の操作を取り消します。



やり直し

取り消した操作を戻します。



カットポイントの追加

タイムライン上のクリップをタイムラインカーソルの位置で分割します。クリップを分割して別のクリップを挿入したい場合や、クリップの途中に不要なシーンがある場合に使用します。



トランジションの設定

選択したクリップやタイムラインカーソル位置のクリップにトランジション (場面の切り替え方法) を設定します。

**速度**

選択中のクリップの再生速度を変更します。

**ビデオフィルタの設定**

選択中のクリップにビデオフィルタを追加します。明るさや色を調整したり、子画面で表示したりする場合に使用します。

**オーディオ設定**

選択中のクリップの音量やフェードイン、フェードアウトを設定します。

**タイトルの作成**

タイムラインカーソルの位置にタイトル (テロップ) を作成します。

**タイトルエフェクトの設定**

選択中のタイトルの効果を設定します。

**アフレコ**

接続したマイクなどからナレーションを録音し、タイムラインカーソルの位置に音声クリップとして追加します。

**全体をレンダリング**

再生がリアルタイムに行えない場合に、タイムラインをレンダリングすることで、再生が正しく行われるようになります。

**現在位置のフレームをBinに追加**

タイムラインカーソル位置の映像を静止画クリップとしてBinウィンドウに作成します。

**ヒント**

タイムライン編集ボタンは、選択しているトラックによって、使用できるボタンが異なります。

オーバーレイトラックを選択中



ビデオトラックを選択中



タイトルトラックを選択中

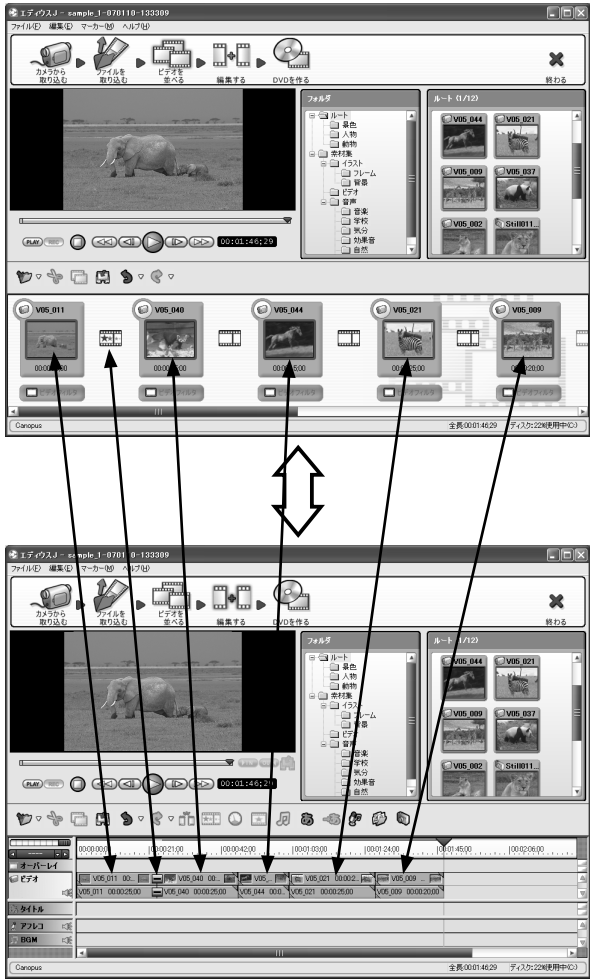


アフレコトラック、BGMトラックを選択中

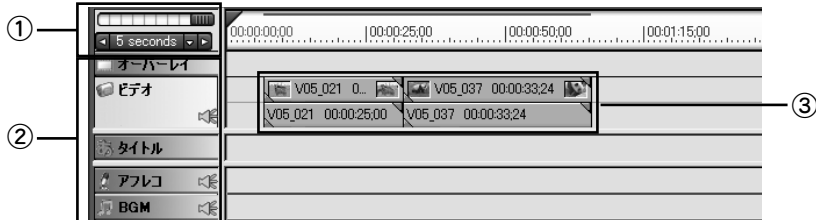




「ストーリーボード」は、タイムラインと連動しています。
ストーリーボード画面で行った編集内容は、タイムライン画面にも反映されますので、クリップの並び順や、トランジションやビデオフィルタの種類をストーリーボード画面で指定して、不要なシーンの削除（トリミング）などの微調整や、タイトルの作成などは、タイムライン画面で行いましょう。

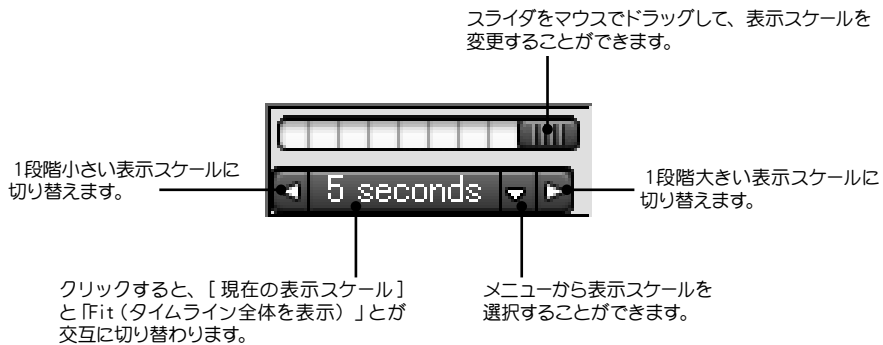


5-2 タイムラインの機能



① タイムラインスケール

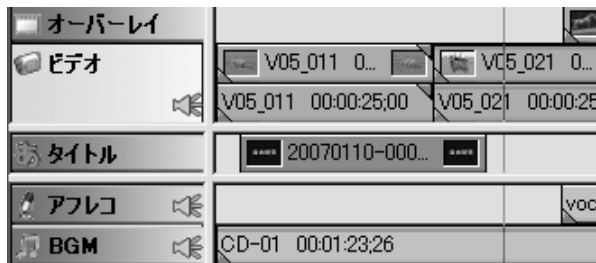
タイムラインの表示スケールを変更することができます。



②トラック

タイムラインには、「オーバーレイ」「ビデオ」「タイトル」「アフレコ」「BGM」の5種類のトラックがあります。

エディウスJでは、トラックの数を増やすことはできません。



「オーバーレイ」トラック

再生されるメイン映像とは別の映像をインサートカットとして挿入したり、子画面を表示させる場合に使用します。ビデオクリップ、静止画クリップ、タイトルクリップを配置することができます。「オーバーレイ」トラックに配置されたクリップは、「ビデオ」トラックよりも手前に表示されます。ビデオクリップを配置した場合には、クリップに含まれる映像のみが使用され、音声は再生されません。


「ビデオ」トラック

すべての種類のクリップを配置することができ、クリップに含まれる映像、音声は再生されます。

「タイトル」トラック

タイトル（テロップ）を作成するためのトラックです。

「アフレコ」トラック

 ボタンでナレーションを録音した場合に、作成されたオーディオクリップがこのトラックに登録されます。

「BGM」トラック

オーディオクリップ、ビデオクリップを配置することができます。ビデオクリップを配置した場合には、クリップに含まれる音声のみが使用されます。



ミュートボタン

音声をミュート（無音）にする場合にクリックします。

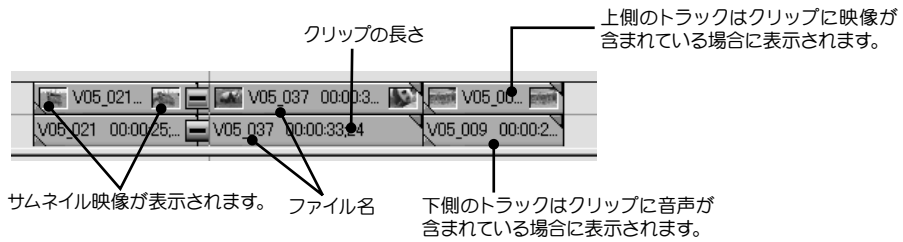


音声が再生されます。

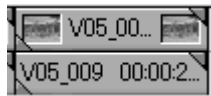


音声は再生されません。

③クリップ

**トリミングマーク**

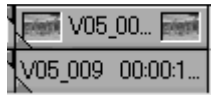
素材クリップの先頭から最後までがトリミングされずに配置されている場合には、グレーの三角形のマークがクリップ上に表示されます。



全体が配置されたクリップ



先頭がトリミングされたトラック



末部がトリミングされたトラック

**トランジションマーク**

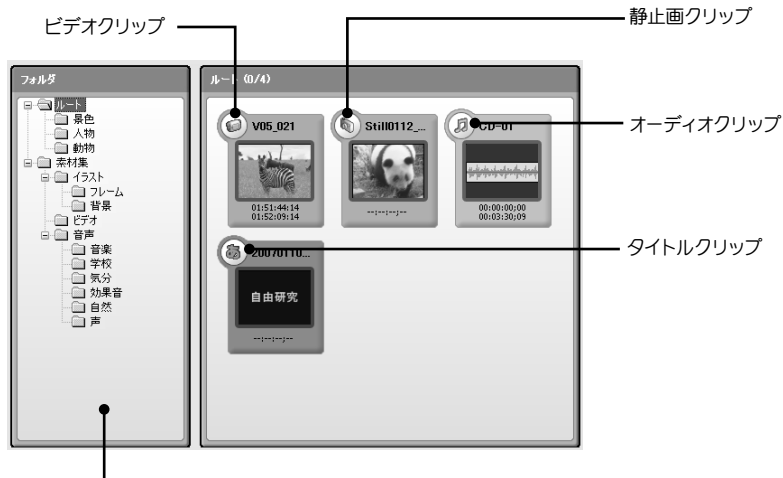
トランジションが設定された箇所には、四角形のマークが表示されます。

**フィルタマーク**

ビデオフィルタ、オーディオフィルタが設定されたクリップには、クリップ上に青色のラインが表示されます。

< Bin ウィンドウ >

ビデオ編集の素材として使用するクリップを登録しておく場所です。



多くのクリップを使ってビデオを編集する場合に、クリップをフォルダで分けて整理することができます。フォルダを変更しても、ファイル自体の保存先が変更されるわけではありません。



ヒント

ルートフォルダと素材集フォルダ

Binウィンドウのフォルダウィンドウには、ルートフォルダ、素材集フォルダの2つのフォルダが存在します。



・ルートフォルダ

エディウスJで使用するクリップを登録するためのフォルダです。下の階層に自由にフォルダを新規作成することができます。

・素材集フォルダ

ビデオ編集に利用可能なビデオクリップ、オーディオクリップ、静止画クリップが含まれています。

フォルダ、クリップを移動したり、削除したりはできません。



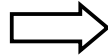
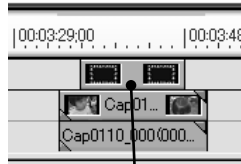
ヒント

素材集

素材集フォルダに含まれる素材には次のようなものがあります。

・イラスト

「フレーム」フォルダには、オーバーレイトラックに配置することでビデオに枠を表示させる画像が含まれています。「背景」フォルダには、タイトルの背景やDVDメニューの背景に使用できる画像が含まれています。



オーバーレイトラックにフレームを配置



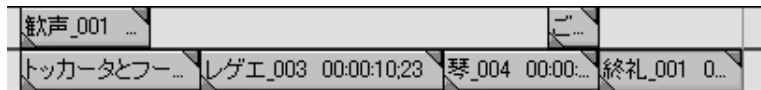
タイトルの背景として取り込み

・ビデオ

古い映画の開始時のカウントダウンのような動画が素材として収録されています。

・音声

BGMトラックやアフレコトラックに配置して、音楽や効果音に使えるオーディオ素材が含まれています。

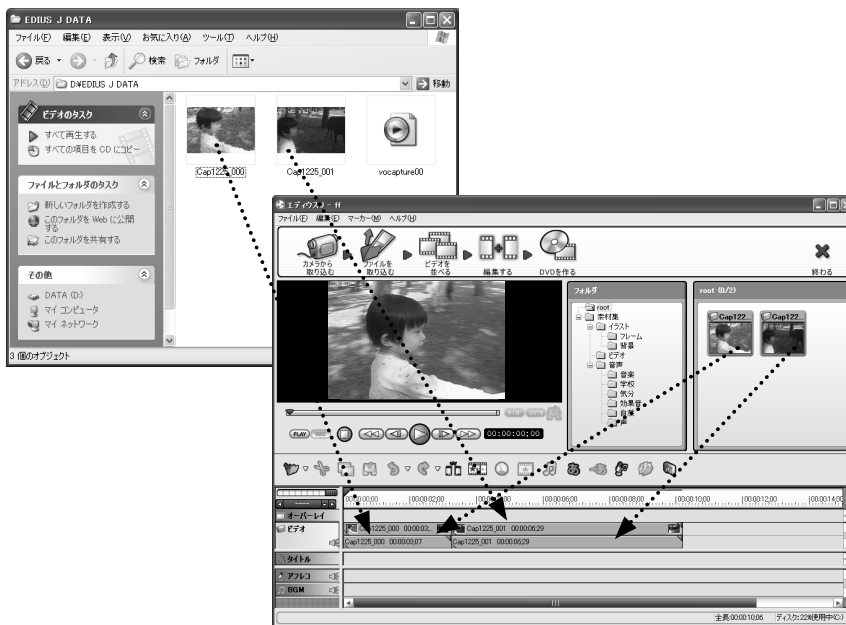


5-3 タイムラインにクリップを登録する

ビデオクリップを登録する

ストーリーボードへのクリップの追加と同様に、ドラッグ&ドロップでタイムラインに直接クリップを登録することができます。

- 1 クリップをタイムラインに登録します。
Binウィンドウ上のクリップや、パソコンに保存されているファイルをドラッグ&ドロップします。

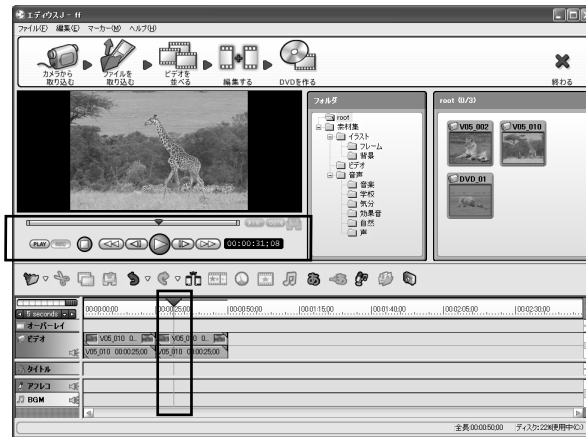


- 2 クリップがタイムラインに登録されます。

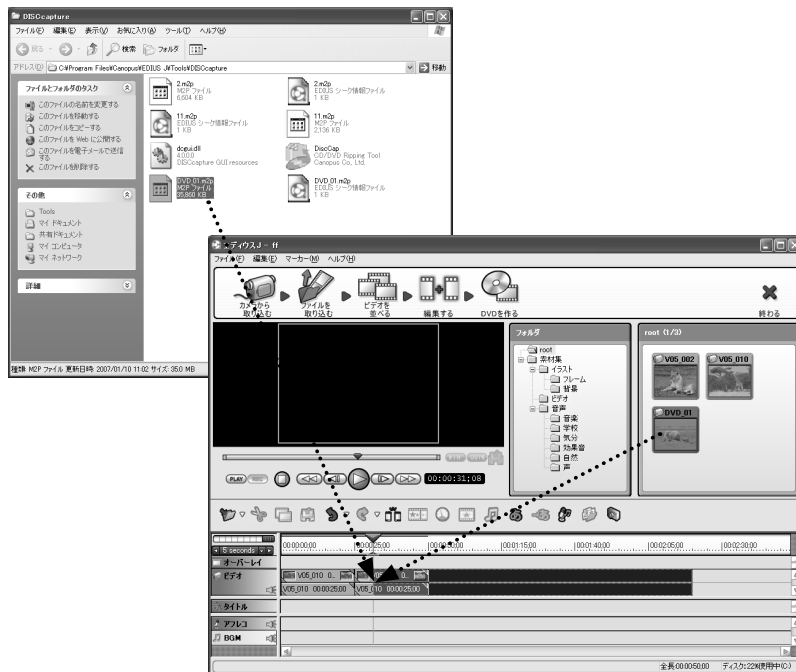
クリップの途中に別のクリップを挿入する

1 挿入地点を指定します。

コントロールボタン、スライダ、タイムラインカーソルを操作し、プレビューウィンドウにクリップを挿入する位置に合わせます。



2 クリップをタイムラインカーソルの位置にドラッグ&ドロップします。

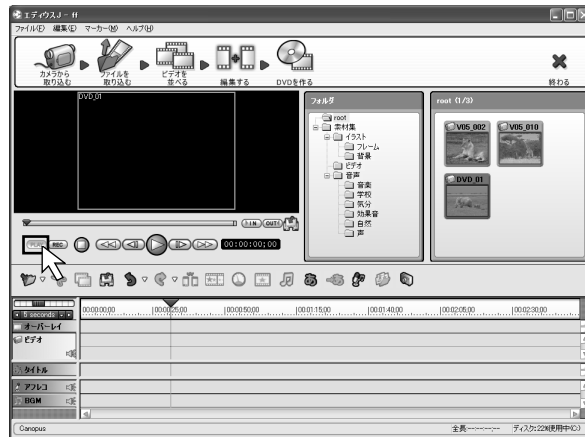


3 挿入地点にあるクリップが分割され、ドラッグしてきたクリップが挿入されます。

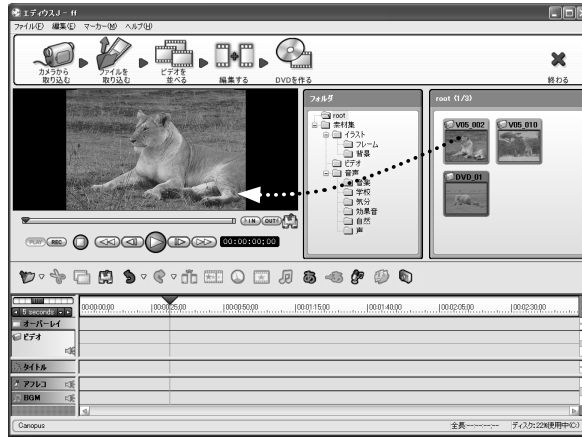


クリップのIn点、Out点を設定後にタイムラインに登録する

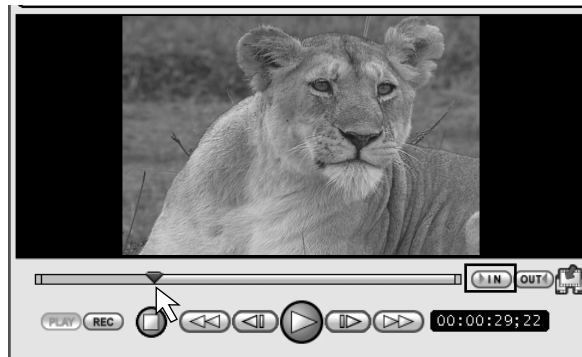
- 1 **PLAY** (プレーヤーに切り替え) ボタンをクリックします。
プレビューウィンドウがRECORDERモードからPLAYERモードに切り替わり、素材クリップをプレビューできるようになります。



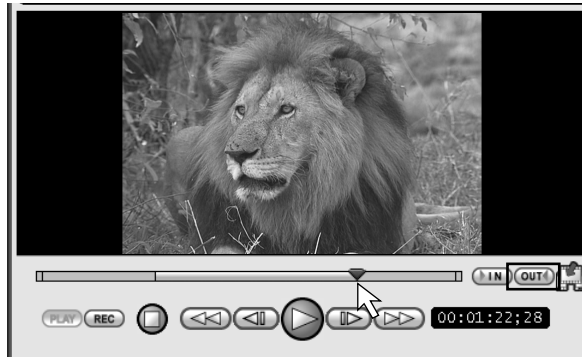
2 プレビューウィンドウに、クリップをドラッグ&ドロップします。




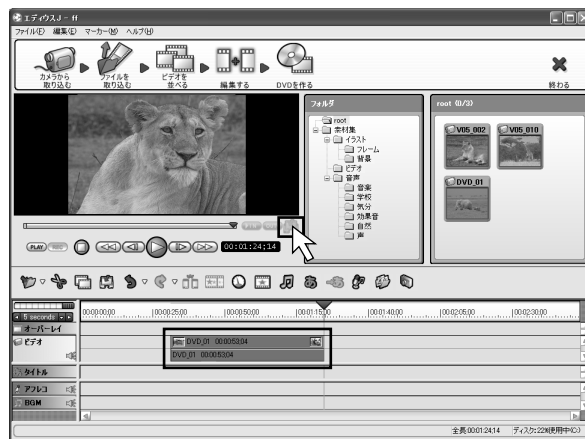
3 スライダをドラッグして、In点 (開始点) に設定するポイントに合わせ、**IN** ボタンをクリックします。



- 4 スライダをドラッグして、Out点（終了点）に設定するポイントに合わせ、**OUT** ボタンをクリックします。

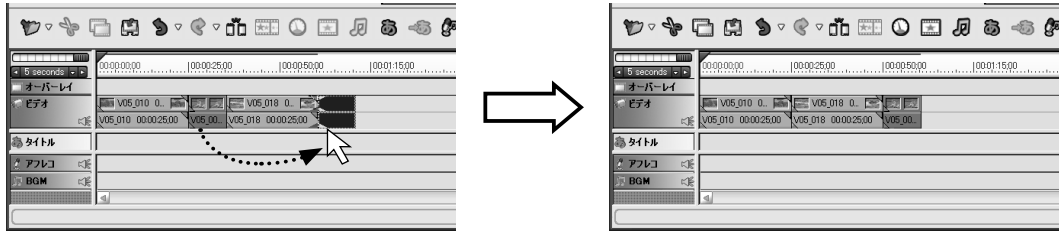


- 5  (タイムラインに挿入で追加) ボタンをクリックすると、In点、Out点が設定された状態でタイムラインカーソル位置にクリップが追加されます。



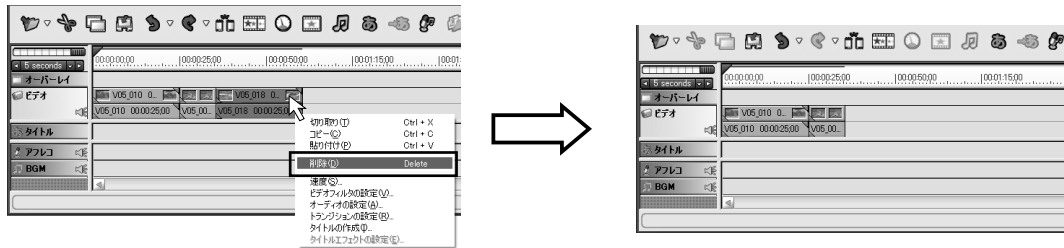
クリップの順番を入れ替える

- 1 順番を入れ替えたいクリップを、移動先にドラッグ&ドロップします。




タイムラインのクリップを削除する


- 1 削除したいクリップ上で右クリックして、表示されるメニューで [削除] を選択します。

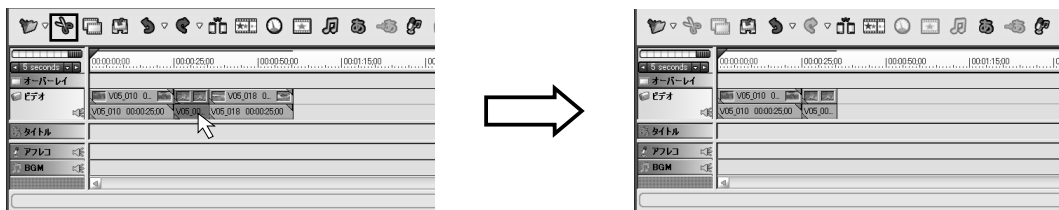


クリップボードに切り取り

タイムラインに登録されているクリップを削除し、クリップボードにコピーします。


クリップボードにコピーしたクリップは、 (カーソル位置に貼り付け) ボタンで、位置を指定して貼り付けることができます。タイムラインに登録したクリップの場所を移動させたり、順番を入れ替えたりする場合に使用します。

- 1 切り取るクリップをクリックし、 (クリップボードに切り取り) ボタンをクリックします。

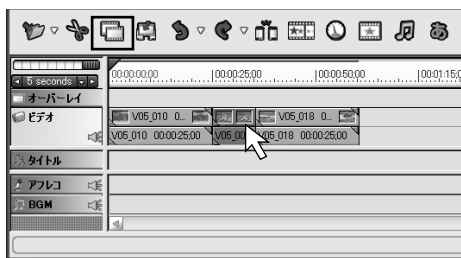


クリップボードにコピー

ストーリーボードに登録されているクリップを残したまま、クリップボードにコピーします。

クリップボードにコピーしたクリップは、 (カーソル位置に貼り付け) ボタンで、位置を指定して貼り付けることができます。同じクリップを何度も使いたい場合に使用します。

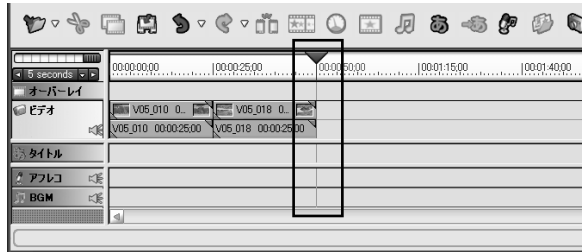
- 1 切り取るクリップをクリックし、 (クリップボードにコピー) ボタンをクリックします。




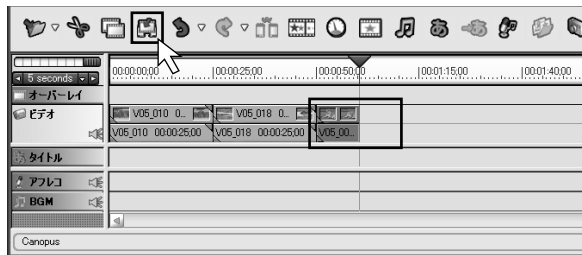
カーソル位置に貼り付け

クリップボードにコピーされているクリップを、場所を指定して貼り付けることができます。

- 1 タイムラインカーソルをドラッグして、クリップを貼り付ける位置に合わせます。

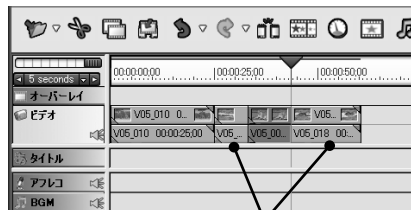
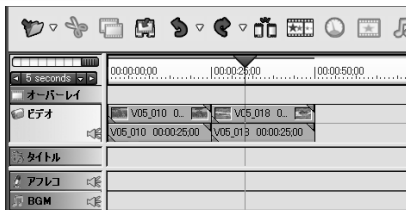


- 2  (カーソル位置に貼り付け) ボタンをクリックします。
クリップボードにコピーされていたクリップが、カーソル位置に貼り付けられます。



ヒント

「貼り付け位置」として、あるクリップの途中の地点を指定した場合には、もともとあったクリップが指定した地点で分割され、クリップボードのクリップがその間に挿入されます。

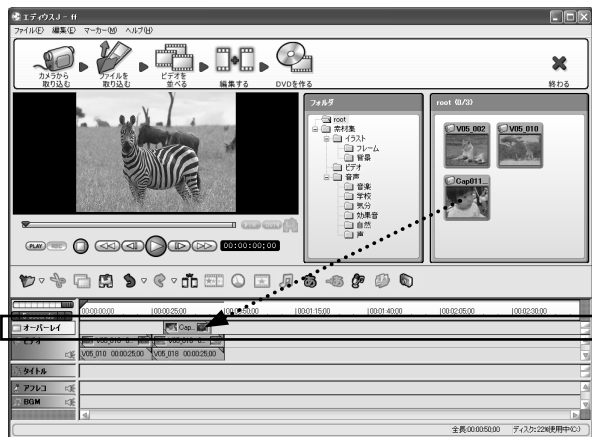


分割されて、その間にクリップが挿入されます。

オーバーレイトラックに登録する

ビデオトラックにクリップを追加する場合は、もともと配置されていた他のクリップと重複する部分があると、その部分が前後にずれた状態で挿入され、ビデオ全体の長さが変化します。オーバーレイトラックにクリップを追加すれば、ビデオ全体の長さを変えずにクリップを追加することができます。

また、子画面（ピクチャー イン ピクチャー）を表示させたい場合も、オーバーレイトラックを使用して、配置したクリップにビデオフィルタの「ピクチャー イン ピクチャー」を設定します。



ヒント

オーバーレイトラックの使い道

オーバーレイトラックには次のような使い道があります。

- 他のシーンを追加



- 子画面（ピクチャー イン ピクチャー）を表示






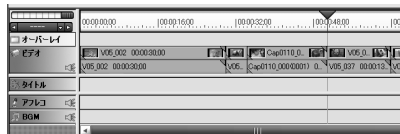
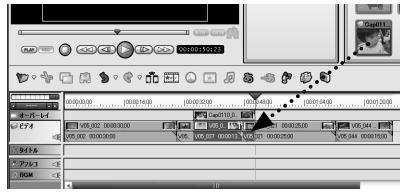
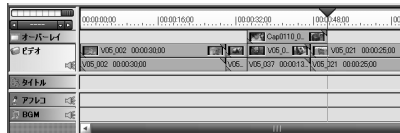
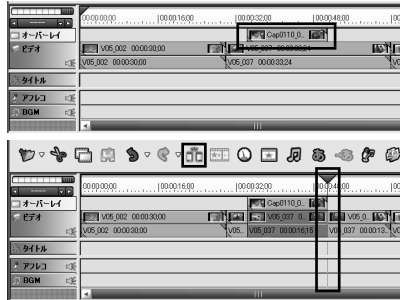
ヒント

全体の長さを変えずにクリップを置き換える

オーバーレイトラックに配置したクリップの音声は再生されません。

画面には、オーバーレイトラックの映像が表示されていても音声は、ビデオトラック、BGMトラックのものが再生されます。クリップの一部を、音声付の別のクリップに置き換えたい場合には次のようにします。

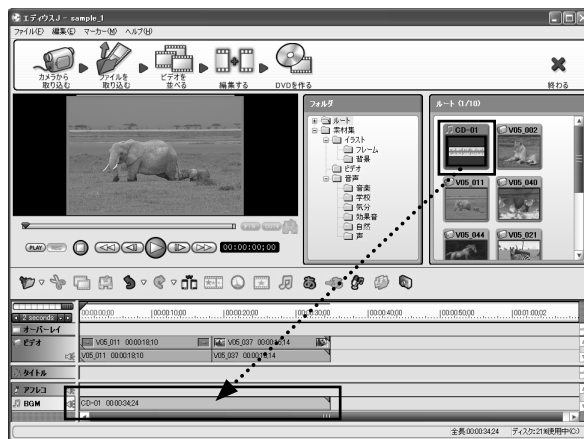
- 1 置き換えるクリップをオーバーレイトラックに配置する。
- 2 オーバーレイトラックに配置したクリップの先頭と終わりの地点にタイムラインカーソルを合わせ、 (カットポイントの追加) ボタンで、カットポイントを作成する。
- 3 ビデオトラックの重複している部分 (不要な部分) を削除する。後ろのクリップが前に繰り上がります。
- 4 Binウィンドウからビデオトラックに、置き換えるクリップをドラッグ&ドロップする。
- 5 最初にオーバーレイトラックに配置したクリップを削除する。





オーディオクリップを登録する

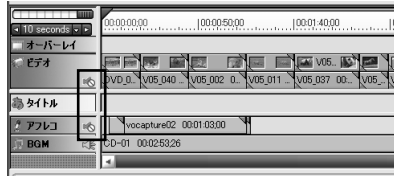
ビデオクリップと同様に、オーディオクリップをBGMトラックに配置することができます。

- 1 パソコンに保存されているファイルや、BinウィンドウのクリップをBGMトラックにドラッグ&ドロップします。

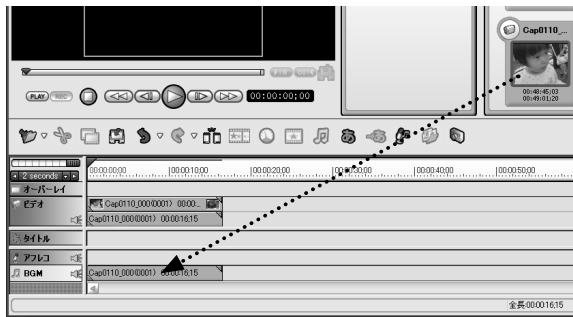




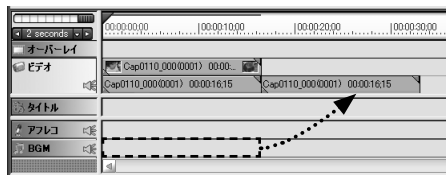
- ・タイムラインを再生した際には、ビデオトラック、アフレコトラック、BGMトラックに配置されたトラックの音声のみがミックスされて出力されます。BGMトラックのクリップの音声だけを出力したい場合には、不要なトラックの  (ミュート) ボタンを押して、音声を無音  にしてください。



- ・BGMトラックにビデオクリップを配置することもできます。BGMトラックにビデオクリップをドラッグ&ドロップすると映像部分が破棄され、クリップの音声のみがBGMトラックに配置されます。




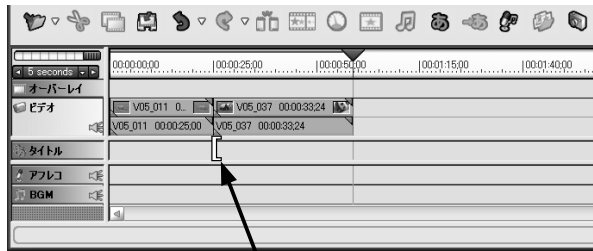
- ・一度BGMトラックに配置したビデオクリップは、それ以降、オーディオクリップとして扱うことができます。ビデオトラックに移動させても、オーディオのみのクリップとして貼り付けられます (Binに登録されたクリップ、および元のファイル自体が変更されることはありません)。



5-4 クリップの不要な部分を削除する (トリミング)

クリップの先頭部分に不要なシーンがある場合

- 1 クリップの先頭部分にマウスカーソルを合わせます。
マウスカーソルが  の形に変わります。



- 2 マウスの左ボタンを押した状態で、右方向にドラッグします。
*左方向にドラッグすると、縮めたクリップを伸ばすことができます。




直前のクリップの最後のフレームの映像が表示されます。

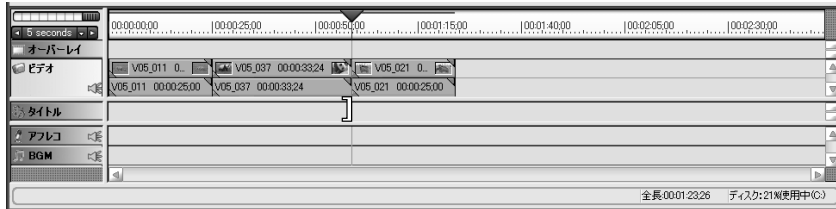
トリミング中のクリップの先頭となるフレームが表示されます。

ドラッグした範囲分、クリップが短くなり、前詰め状態になります。

- 3 プレビューウィンドウの右側に、開始地点 (In点) にしたい画像が表示されたところでマウスの左ボタンを放します。

クリップの最後の部分に不要なシーンがある場合

- 1 クリップの最後の部分にマウスカーソルを合わせます。
マウスカーソルが  の形に変わります。



- 2 マウスの左ボタンを押した状態で、左方向にドラッグします。
*右方向にドラッグすると、縮めたクリップを伸ばすことができます。



トリミング中のクリップで最後となるフレームが表示されます。

次のクリップの最初のフレームの映像が表示されます。


- 3 プレビューウィンドウの左側に、終了地点 (Out点) にしたい画像が表示されたところでマウスの左ボタンを放します。

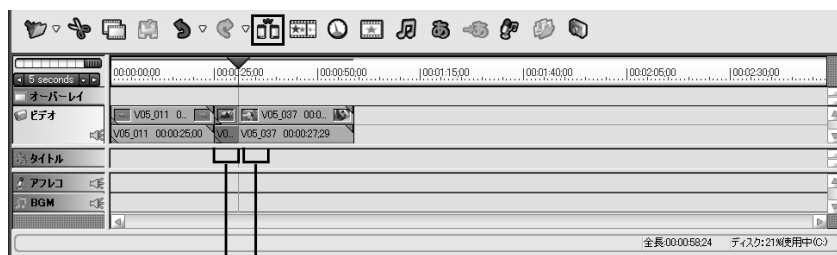
クリップの途中に不要なシーンがある場合

クリップの途中にあるシーンを削除するには、クリップを分割した後に、不要なシーンをトリミングします。

- 1 タイムラインカーソルを操作し、不要なシーン（削除するシーン）の最初にタイムラインカーソルを合わせます。




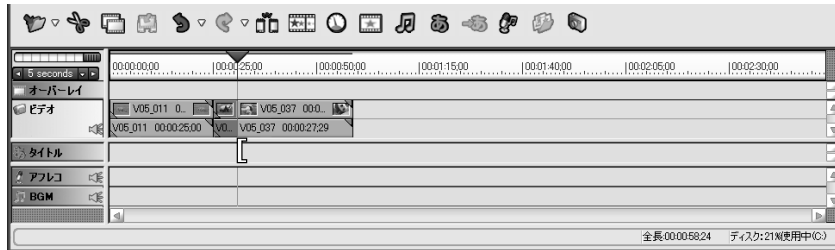
- 2  (カットポイントの追加) ボタンをクリックし、クリップを分割します。



このクリップの先頭の残す部分

削除したい部分

- 3 不要なシーンの先頭部分にマウスカーソルを合わせます。
マウスカーソルが  の形に変わります。




- 4 マウスの左ボタンを押した状態で、右方向にドラッグします。

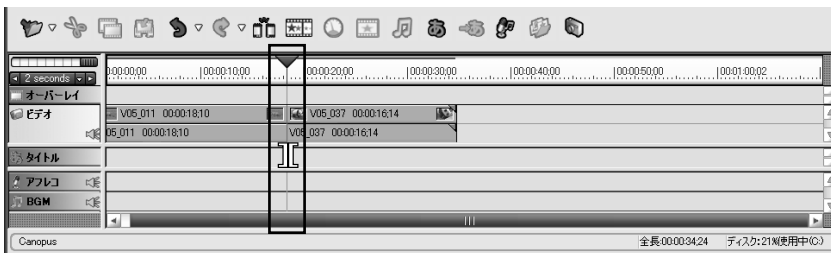


作品全体の長さを変えずに、場面の切り替わりのタイミングを変更する

前のクリップの終了点の位置と、後ろのクリップの開始点の位置を連動させて移動させることで、作品全体の長さを変えずに、場面の切り替わり地点（カットポイント）を変更することができます。

一方のクリップのトリミングで削除された部分を伸ばし、もう一方のクリップを同じだけ縮めます。

- 1 移動させたいカットポイントにマウスカーソルを合わせます。
カーソルが  の形に変わります。



- 2 マウスの左ボタンを押した状態で、ずらしたい方向にドラッグします。



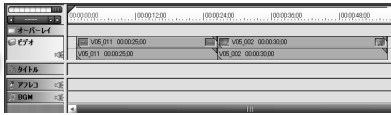
前のクリップで最後となるフレームが表示されます。

後ろのクリップで先頭となるフレームが表示されます。

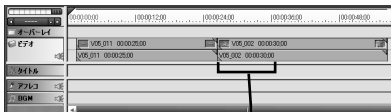


ヒント

トリミング可能な範囲

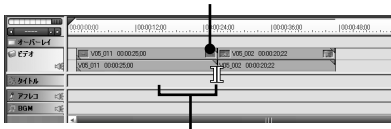


クリップをトリミングした結果、前にずれた長さ



この部分を再度、延長可能

前のクリップの末部はトリミングされていないため、これ以上伸ばすことはできません。



後ろのクリップでトリミングされた長さと同じ長さですが、1番目のクリップ上でのカットポイントの移動可能範囲となります。

この例では、前のクリップがトリミングされていないため、後ろのクリップの側に、カットポイントを移動させる（前のクリップを伸ばす）ことはできません。

クリップをトリミングせずにタイムラインに配置した状態

2番目のクリップの先頭部分を図のようにトリミングした場合、2番目のクリップの先頭部分をカーソルにあわせて、カーソルを左方向にドラッグすれば、トリミングで削除した部分を、元に戻すことができます。


カットポイント（前後のクリップの場面の切り替わり地点）を連動させて変更する場合の、トリミング可能範囲。

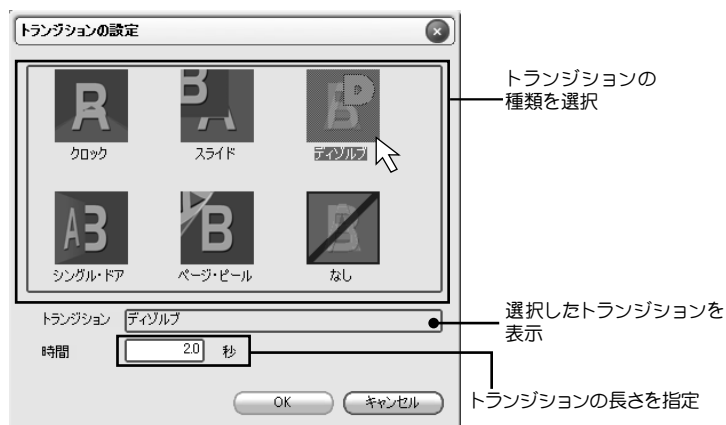
5-5 クリップのつなぎ効果 (トランジション) を設定する


画面が少しずつ変化していく「ディゾルブ」や、次の画面がスライドしながら切り替わる「スライド」など、場面と場面の切り替わり方法を設定することができます。

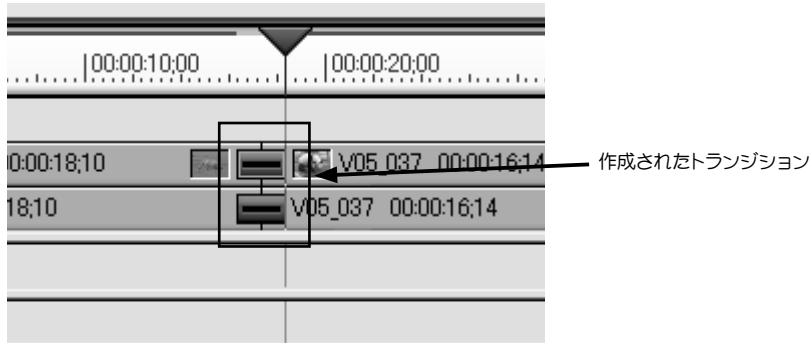
- 1 トランジションを設定する場所にタイムラインカーソルを合わせます。
*トランジションを設定するトラック、またはクリップが選択されている事を確認してください。



- 2  (トランジションの設定) ボタンをクリックします。
「トランジションの設定」ダイアログが表示されます。



- 3 トランジションの種類を選択します。
*トランジションの種類については「トランジションの設定」(p.130)を参照してください。
- 4 トランジションの時間を設定し、 ボタンをクリックします。
- 5 トランジションが作成されました。

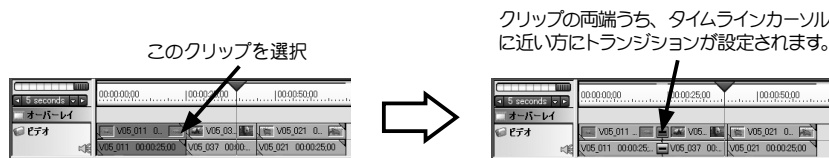


ヒント

トランジションの適用場所

トランジションは、トラック、クリップの選択状況に応じて、設定される場所が次のように変化します。

- クリップを選択してトランジションを設定した場合は、選択クリップのIn点(先頭)、Out点(最後)のうち、タイムラインカーソルに近いほうに、トランジションが設定されます。



- トラックだけを選択してトランジションを設定した場合は、タイムラインカーソルに一番近い位置のカットポイントに、トランジションが作成されます。





作成したトランジションの種類を変更するには、トランジション部をダブルクリックして「トランジションの設定」ダイアログを開きます。

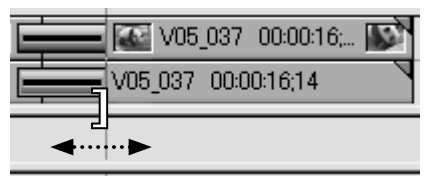


ダブルクリック

トランジションを削除するには、トランジション部でマウスを右クリックして [削除] を選択します。「トランジションの設定」ダイアログで、[なし] を選択しても、削除することができます。

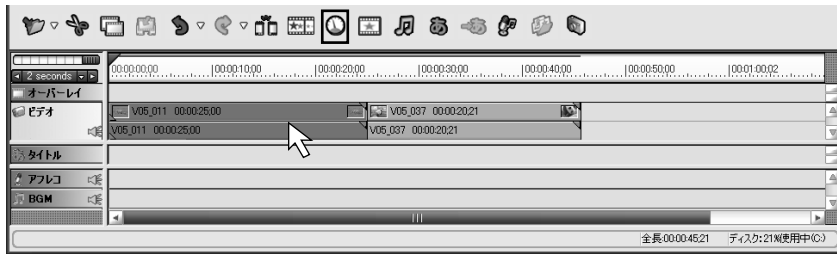


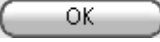
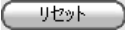
トランジションの時間を変更するには、トランジション部の端をマウスでドラッグします。

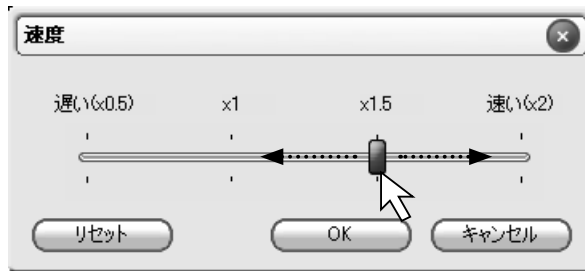


5-6 クリップの再生速度を変更する

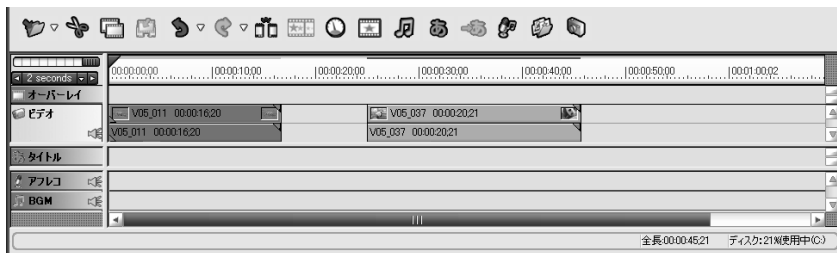
- 1 速度を変更したいクリップを選択し、 (速度) ボタンをクリックします。



- 2 「速度」ダイアログが表示されます。
 スライダーをドラッグして、再生速度を調整し、 をクリックします。
 *  をクリックすると、標準の速度 (×1) に戻ります。



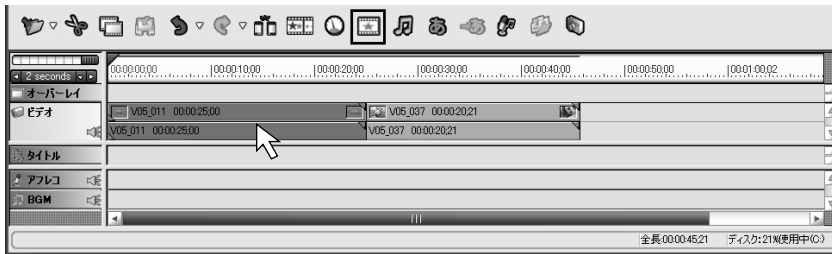
- 3 再生速度が変更され、クリップの長さが変更されました。



5-7 映像を調整する (ビデオフィルタ)

ビデオクリップの色や明るさを調整したり、様々な映像効果を追加することができます。

- 1 映像を調整したいクリップを選択し、 (ビデオフィルタの設定) ボタンをクリックします。

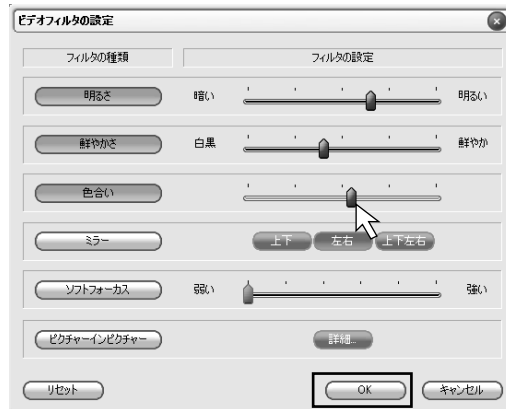


- 2 「ビデオフィルタの設定」ダイアログが表示されます。
設定するフィルタの種類をクリックして選択します。
*複数のフィルタを選択することもできます。



3 スライダーをドラッグして、フィルタの強さを調整し、 ボタンをクリックします。

*使用できるビデオフィルタの種類については、「ビデオフィルタの設定」(p. 128)を参照してください。



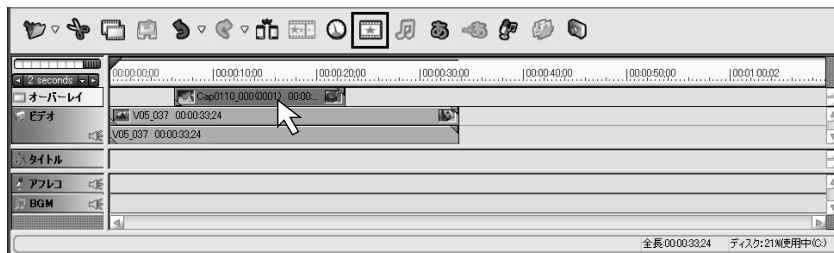
5-8 子画面を表示する

オーバーレイトラックに配置したクリップに、ビデオフィルタのひとつである、「ピクチャー イン ピクチャー」を適用することで、子画面を表示させることができます。

- 1 メイン画面に表示させるクリップを「ビデオ」トラックに、子画面に表示させるクリップを「オーバーレイ」トラックにそれぞれ配置します。



- 2 子画面にするクリップを選択し、 (ビデオフィルタの設定) ボタンをクリックします。



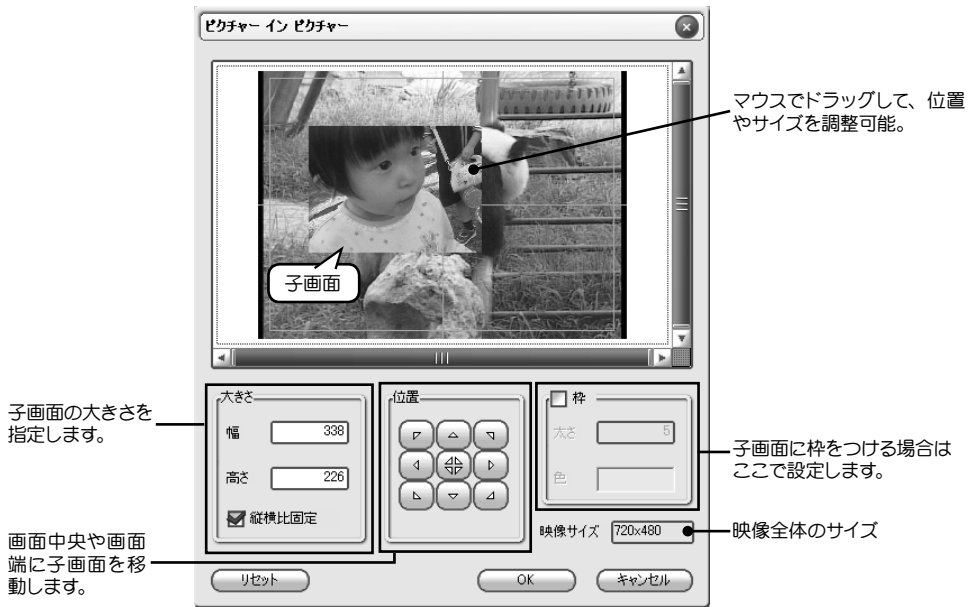
3 「ビデオフィルタの設定」ダイアログが表示されます。



4 ピカチャーインピカチャー ボタン、 詳細... ボタンの順でクリックします。




5 「ピクチャー イン ピクチャー」ダイアログが表示されます。



6 子画面をドラッグして、位置や大きさを設定し、**OK** をクリックします。



7  をクリックします。




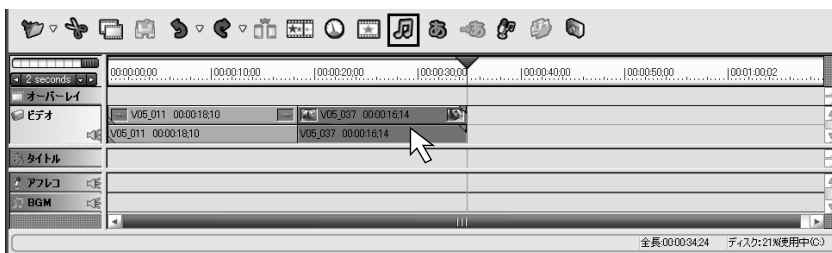
8 「ピクチャー イン ピクチャー」が設定されました。



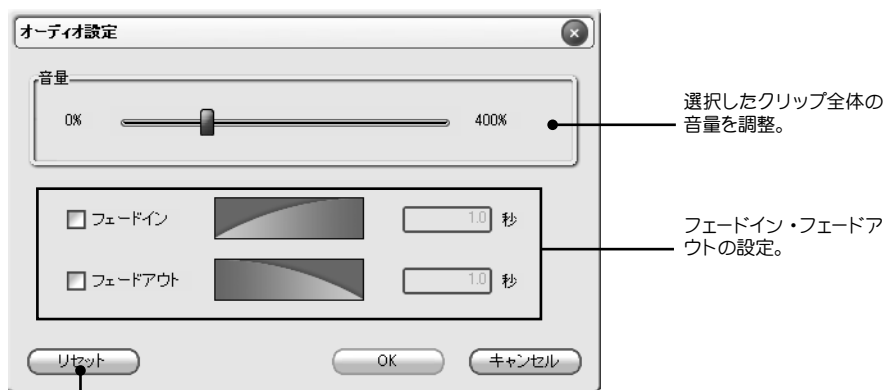
5-9 音量を調整する (オーディオ設定)

クリップの音量を調整したり、フェードイン、フェードアウトを設定することができます。


- 1 オーディオ設定を変更したいクリップを選択し、 (オーディオ設定) ボタンをクリックします。

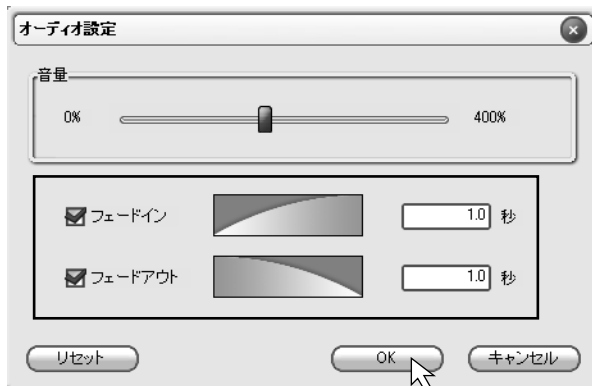


- 2 「オーディオ設定」ダイアログが表示されます。




すべてのオーディオ設定をクリアにします。

3 音量、フェードイン、フェードアウトを設定し、 をクリックします。



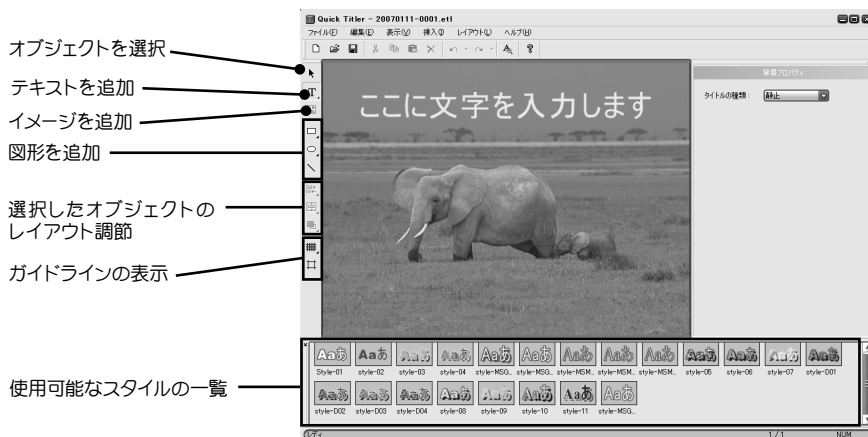
4 オーディオ設定が変更されました。

5-10 タイトルの作成

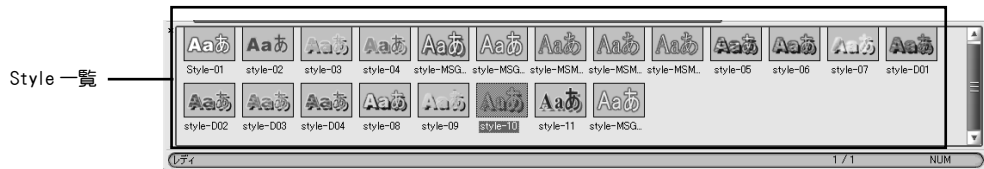
- 1 タイトルを作成する場所にタイムラインカーソルを合わせ、 (タイトルの作成) ボタンをクリックします。



- 2 Quick Titlerが起動します。



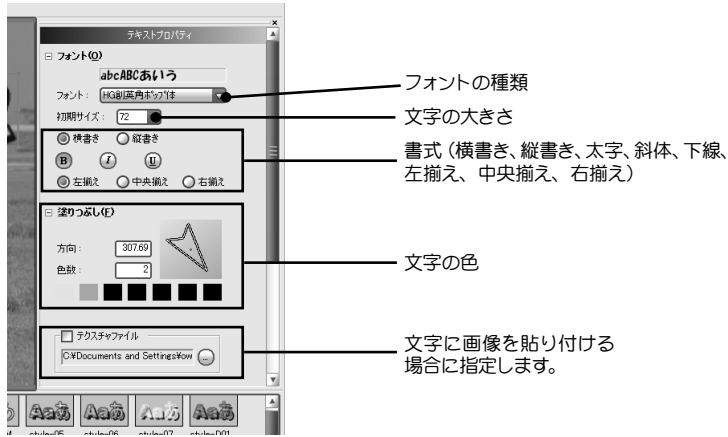
3 使用する文字のタイプをStyle一覧から選択します。



4 タイトルを表示する位置をマウスでクリックし、キーボードでタイトルを入力します。



5 「テキストプロパティ」で、文字の大きさや色のバランスなどを調整します。

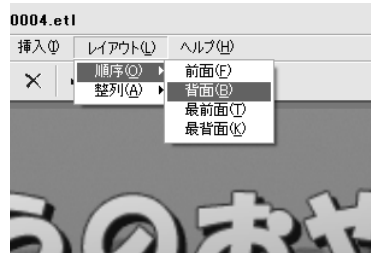


このままでもかまいませんが、さらに文字の背景に図形を配置して、より目立たせましょう。

6 ボタンをクリックし、1文字目を隠すように丸く図形を作成します。





7 メニューの[レイアウト]から[順序]、[背面]を選択します。



8 作成した丸い図形が文字の中央になっていない場合は、ドラッグして調整します。

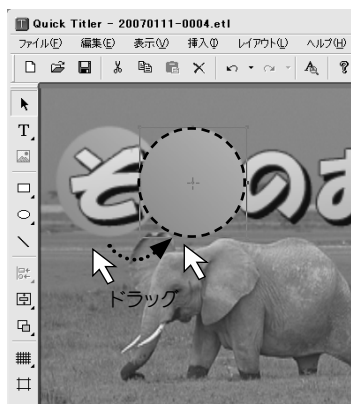


9  (コピー) ボタンをクリックして、作成した丸い図形をクリップボードにコピーします。

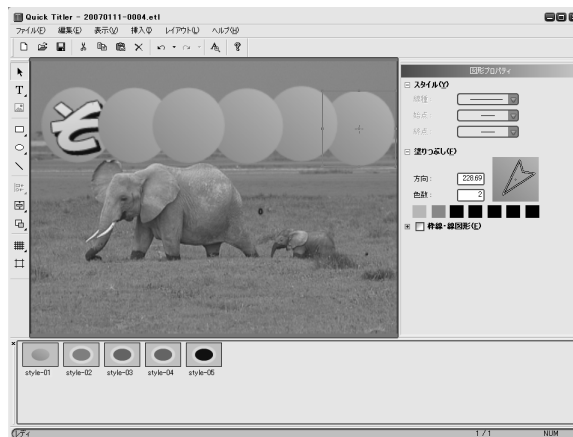
10  (貼り付け) ボタンをクリックして、クリップボードから貼り付けます。



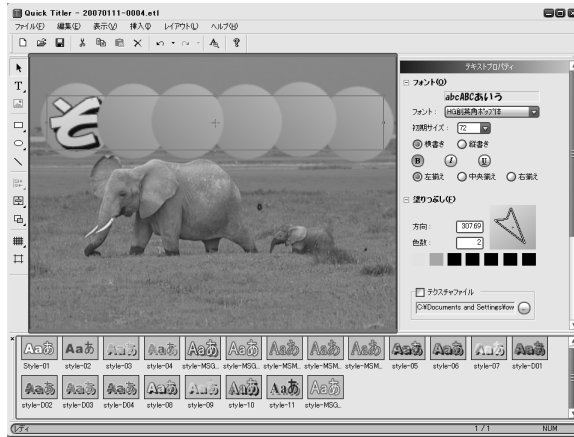
11 新しく貼り付けた図形を、次の文字の上にドラッグします。



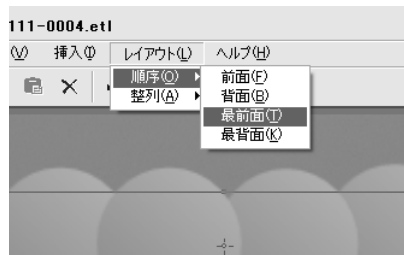
12 手順11~12を繰り返して、すべての文字に図形を重ねます。



13 最初に作成したタイトル文字をクリックして選択します。




14 メニューの[レイアウト]から[順序]、[最前面]を選択します。



15 ずれている図形があれば、ドラッグして調整します。



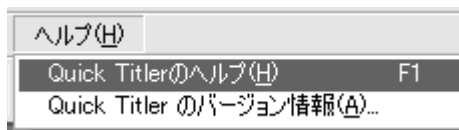
- 16  (保存) ボタンをクリックして、作成したタイトルを保存します。
- 17 タイトルトラック上に配置されたクリップの端をマウスでドラッグして、長さを調整します。



ヒント


QuickTitlerの使い方の詳細については、QuickTitlerのヘルプを参照してください。

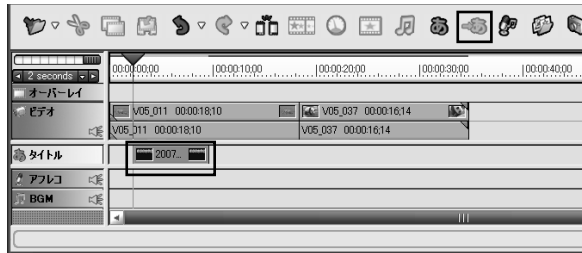
QuickTitlerのヘルプは、QuickTitlerのヘルプメニューから[QuickTitlerのヘルプ]を選択して呼び出すことができます。

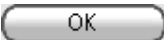


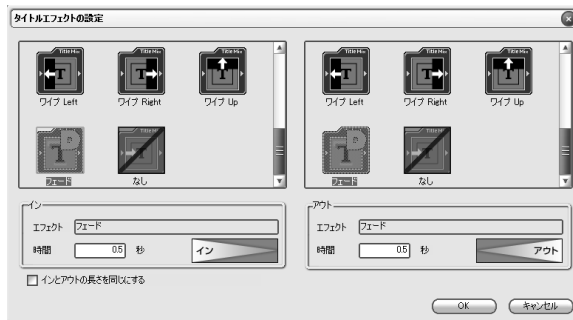
5-11 タイトルエフェクトの設定

タイトルがゆっくりとフェードインして表示された後フェードアウトしながら消えたり、画面外からスライドしてくるといった、タイトルの表示方法を設定します。

- 1 タイトルエフェクトを設定するタイトルクリップを選択し、 (タイトルエフェクトの設定) ボタンをクリックします。




- 2 「タイトルエフェクトの設定」ダイアログが表示されます。イン（表示時の効果）、アウト（消去時の効果）をそれぞれクリックして選択し、 をクリックします。

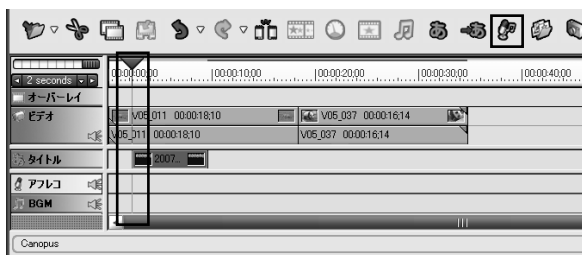



5-12 アフレコ

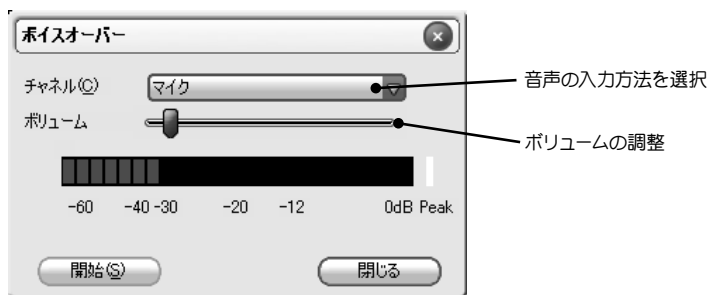
編集したビデオを再生しながらナレーションの録音を行うことができます。


アフレコを行うには、パソコンのLINE INまたはマイク端子にマイクなどの音声入力機器を接続する必要があります。

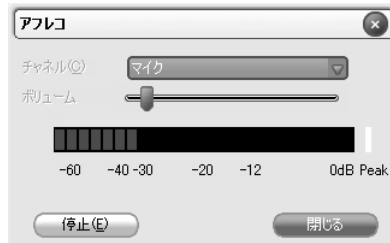
- 1 アフレコを開始する地点にタイムラインカーソルを合わせ、 (アフレコ) ボタンをクリックします。




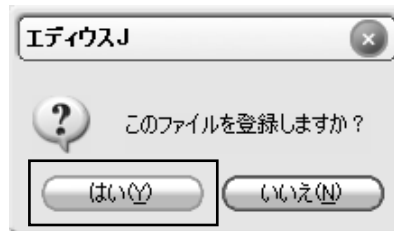
- 2 「ボイスオーバー」ダイアログが表示されます。
入力方式、ボリュームを選択して、 をクリックします。
*開始位置の5秒前からカウントダウンが始まり、録音を開始します。



3  ボタンをクリックすると、録音が終了します。



4 クリップの登録確認ダイアログが表示されます。
 をクリックすると、クリップがタイムラインに登録されます。




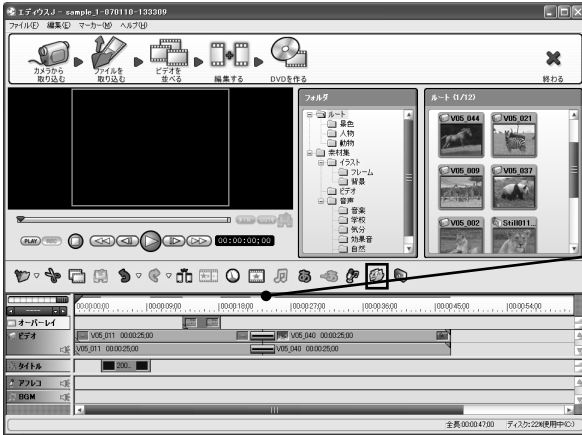
ヒント

アフレコしたクリップは、最初に設定したタイムラインカーソルの位置を先頭に配置されますが、実際には、3秒前の地点から録音が始まっています。そのため、ナレーションが多少ずれた場合でも、画面に合わせてオーディオクリップの長さや位置を調整することができます。

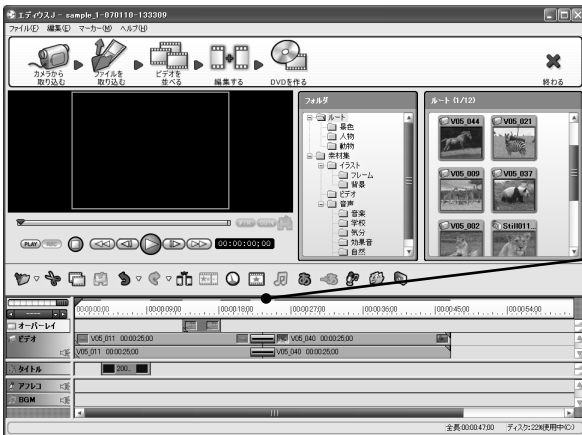
5-13 全体をレンダリング

タイムラインがリアルタイムに再生されない場合などにクリックして、レンダリング処理を行います。

- 1  (全体をレンダリング) ボタンをクリックします。



タイムライン上で負荷のかかる部分
(トランジョンやエフェクトなど)
が設定された部分は、タイムスケール
上に黄色のラインが表示されます。



レンダリングすると負荷部分が緑色
に変わります。

*レンダリング後も、レンダリングを行う前と同じように編集することができます。



ヒント

レンダリングについて

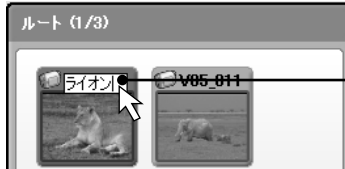
タイムラインに設定したトランジションやフィルタの種類や数によっては、タイムラインの再生がリアルタイムで行われなくなる場合があります。編集中のタイムラインで、設定したエフェクトを適用した状態でのクリップを作成しておくことをレンダリングと呼びます。レンダリングしたクリップは、[マイドキュメント] - [エディウスJ] - [(プロジェクト名)] - [rendered] フォルダ内に保存されます (プロジェクトの保存先が初期状態の場合)。



ヒント

クリップ名の変更

Binウィンドウに登録したクリップの名前部分をダブルクリックして、クリップ名を変更することができます。




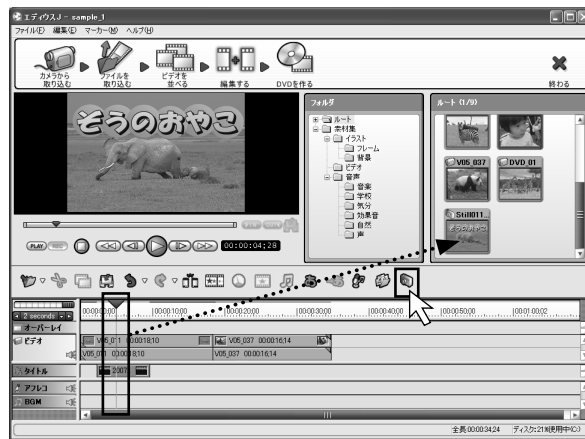
ダブルクリックしてクリップの登録名を変更できます。

クリップ名を変更しても、パソコンに保存されているファイル名は変更されません。同じクリップがすでにタイムラインに配置されている場合でもクリップ名を変更できます、タイムライン上のクリップに表示されるクリップ名は変更されません。

5-14 現在位置のフレームをBinに追加

タイムラインカーソルの位置の映像を静止画クリップとしてBinウィンドウに作成します。

- 1  (現在位置のフレームをBinに追加) ボタンをクリックします。
静止画クリップが作成されます。



ヒント

静止画ファイルは [マイドキュメント] - [エディウスJ] フォルダ内にある作業中のプロジェクト名の付けられたフォルダにビットマップ形式 (bmp) で保存されます (プロジェクトの保存先が初期状態の場合)。

Chapter

6

DVD を作る



6-1 Canopus DVD Creator

6-2 DVD メニューを作成する

6-3 DVD を作成する



6-1 Canopus DVD Creator

Canopus DVD Creatorは、編集の完了した作品から、DVDビデオを作成するためのアプリケーションです。

好きな場面を瞬時に頭出しできるようにチャプタ付きのDVDを作成したり、いろいろな場面を画面上で選択して呼び出せるメニュー画面付きのDVDを作成することもできます。また、メニュー画面の背景や画面上のボタンの画像を自由に変更することもでき、本格的なDVD作成が楽しみいただけます。

<「スタイルの選択」画面>

作成するメニュー画面の背景を変更する場合に選択します。

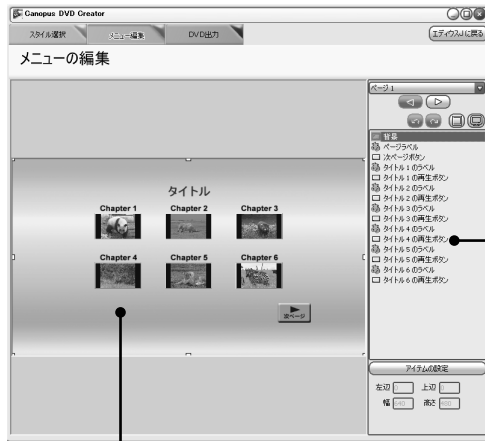
メニュー画面に表示する項目を変更する場合に選択します。

DVDを作成する際に選択します。



背景のスタイルを選択します。

<「メニューの編集」画面>



選択した項目の設定を
変更します。

タイムラインに設定したマーカーが、チャプタとして表示されます。
多くのマーカーを設定している場合には、メニュー画面に複数の
ページが作成されます。

< DVD へ出力画面 >



作成される DVD の容量の
使用状況を表示します。

DVD の種類を選択します。

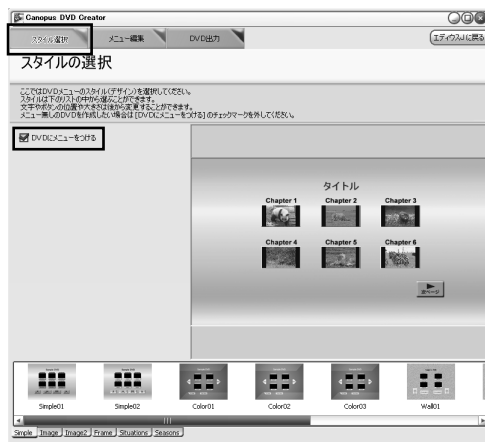
再生時の動作を設定する
場合に選択します。

作成する DVD の設定を行います。

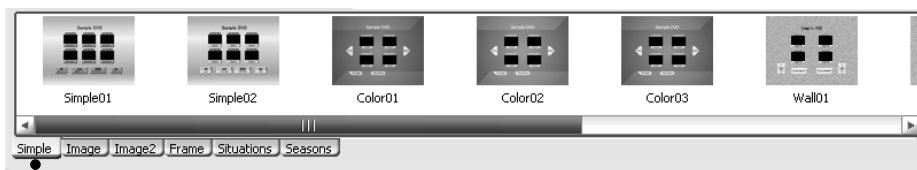
6-2 DVDメニューを作成する

DVDのメニュー画面を編集する手順を説明します。

- 1 **スタイル選択** タブをクリックして開き、 **DVDにメニューをつける** にチェックが付いていることを確認します。



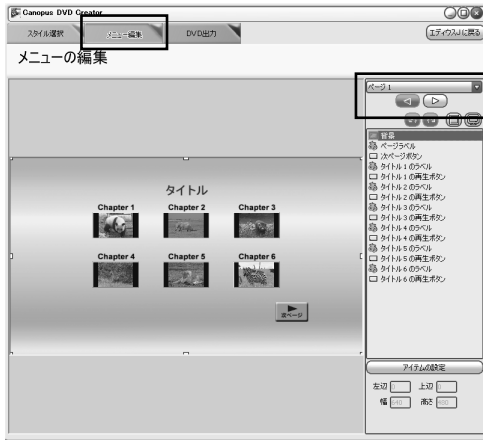
- 2 Style一覧から、DVDメニューのスタイル (デザイン) を選択します。



使用可能なスタイルが種類別にそれぞれのタブに分類されています。

- * **メニュー編集** タブで画像を読み込んで、メニューの背景に設定することもできます。

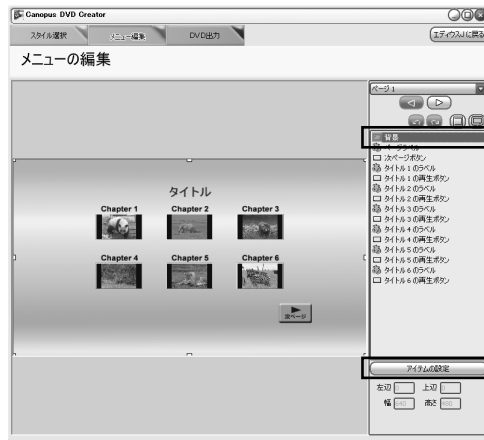
3 メニュー編集 タブをクリックして開きます。





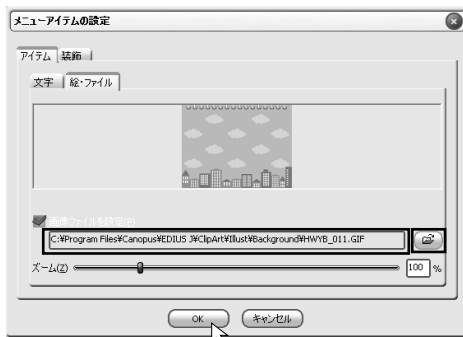
メニューが複数のページに分かれている場合に、ページを切り替えて確認することができます。

4 背景の画像を読み込みます。

背景、アイテムの設定の順にクリックし、「メニューアイテムの設定」ダイアログを開きます。



- 5  をクリックし、読み込む画像を選択し、 をクリックします。ここでは、「素材集」に収録されている「HWYB_001.GIF」の画像を読み込んでみましょう。

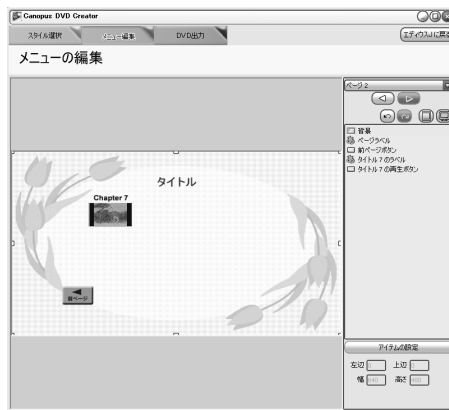


*Cドライブの[Program Files]—[Canopus]—[EDIUS J]—[ClipArt]—[Illust]—[Background]のフォルダに、メニューの背景として使用できるいろいろな素材が収録されています。

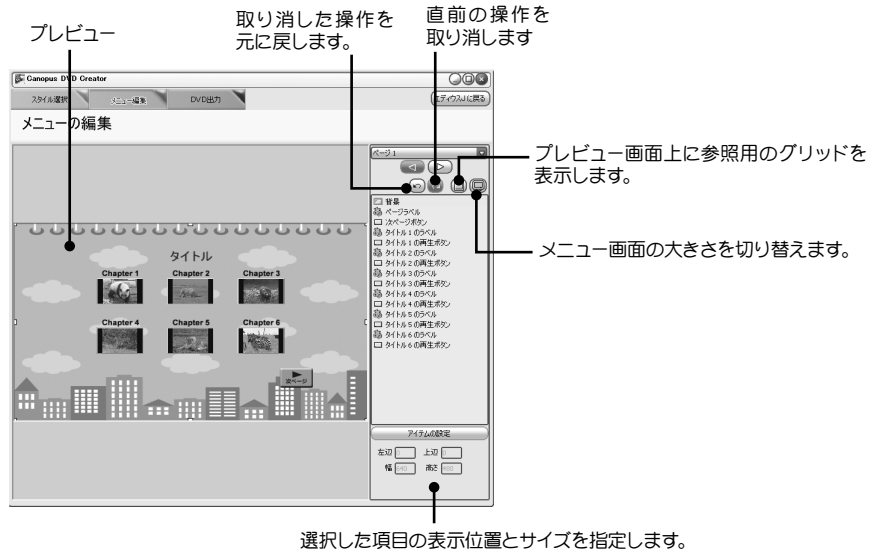


ヒント

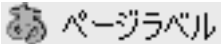
メニューに複数のページがある場合には、それぞれのページに異なる背景を指定することもできます。



6 次に、メニュー画面に表示される項目を編集します。 編集する項目を選択します。



ページラベル



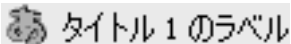
メニューページのタイトルを変更する場合に選択します。

次ページボタン



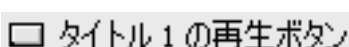
次ページボタンを変更する場合に選択します。

タイトルのラベル



チャプタ名を変更する場合に選択します。

タイトルの再生ボタン



チャプタの再生ボタンとして表示される画像を変更する場合に選択します。

7 アイテムの設定 をクリックし、「メニューアイテムの設定」ダイアログを開きます。



8 メニューアイテムの設定ダイアログで、設定を変更します。
*手順6で選択した項目によって、最初に表示される画面が異なります。

「文字タブ」

画面に表示されるテキストを編集します。

使用するフォントを選択

表示するテキストを入力

文字の色を「単色カラー」「グラデーションカラー」「テキストチャファイル」から選択します。

太字、斜体、下線を設定

文字サイズを選択

アイテム表示枠内での位置を選択定

「絵・ファイル」タブ

画面に表示されるイラストや画像を指定します。



ボタンとして使用するサムネイル画像をタイムラインで指定する場合にクリックします。

画像ファイルを読み込んで使用する場合にチェックします。

9 **OK** をクリックします。
メニューが作成されました。



6-3 DVDを作成する

- 1 **DVD出力** タブをクリックして開きます。



- 2 **メディア** **DVD R/RW (4.7GB)** をクリックして、使用するメディアの種類を選択します。
- 3 ボリュームラベル、書き込みドライブ、書き込み速度を設定します。



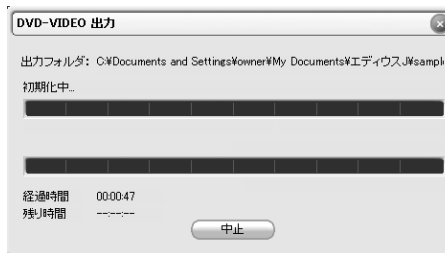
*書き込み時にエラーが出る場合には、書き込み速度を落としてください。

4 「再生時の動作」タブをクリックすると、DVDの動作を設定することができます。



5 作成開始 ボタンをクリックします。

DVDの作成を開始します。



注意

DVD作成時には、編集するファイル容量の2倍のHDDの空き容量が必要となります。

DVD-R(4.7GB)へ書き込みする場合は、HDD空き容量が10GB以上の状態でご使用ください。DVD-R DL(8.5GB)へ書き込みする場合は、HDD空き容量が20GB以上の状態でご使用ください。



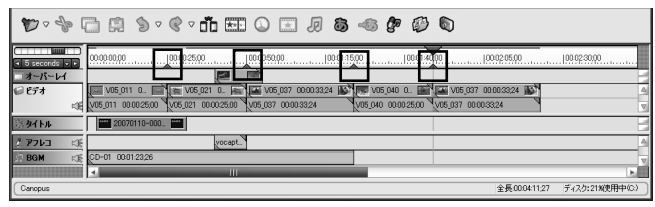
ヒント

DVDへの書き込みを行わずに、**エディウスJに戻る** ボタンでエディウスJの画面に戻った後、プロジェクトの保存を行った場合には、DVDの設定も保存されます。



ヒント

タイムライン上にマーカーを設定しておけば、DVDを作成した際に、DVDのチャプタとなり、頭出しができるようになります。



マーカーを設定するには、タイムライン画面で、マーカーを追加する位置にタイムラインカーソルを合わせ、タイムラインスケール部を右クリックして表示されるメニューから「マーカーを追加」を選択します（キーボードの「V」を押してマーカーを追加することもできます）。



ヒント

「ファイル」メニューの「ムービーの出力」、「テープへ出力」で、完成した作品をムービーファイルに変換して出力（p.124参照）したり、DVテープに書き出す（p.127参照）ことができます。



Chapter

7

エディウスJの画面操作と機能

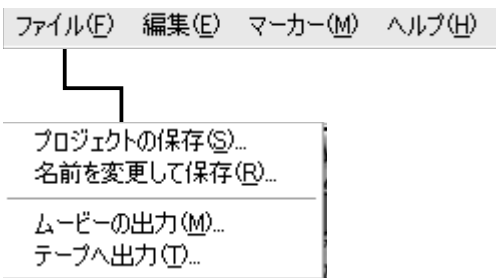


- 7-1 メニューバーの項目と説明
- 7-2 ポップアップメニューの項目と説明
- 7-3 設定ダイアログ



7-1 メニューバーの項目と説明

<「ファイル」メニュー>



プロジェクトの保存
編集中のプロジェクトを上書き保存します。

名前を変更して保存
編集中のプロジェクトの名前を変更して保存します。

ムービーの出力
ムービーに変換して出力するための「ムービーの出力」ダイアログを表示します。(p.124 参照)

テープへの出力
テープ出力ウィザードを起動します。(p.127 参照)

<「編集」メニュー>



元に戻す
直前の操作を取り消します。

やり直し
取り消した操作を元に戻します。

切り取り
クリップを一時保存領域(クリップボード)に移動します。

コピー
クリップのコピーを一時保存領域(クリップボード)に作成します。

ペースト
クリップを一時保存領域(クリップボード)からタイムラインカーソル位置に貼り付けます。

<「マーカー」メニュー>

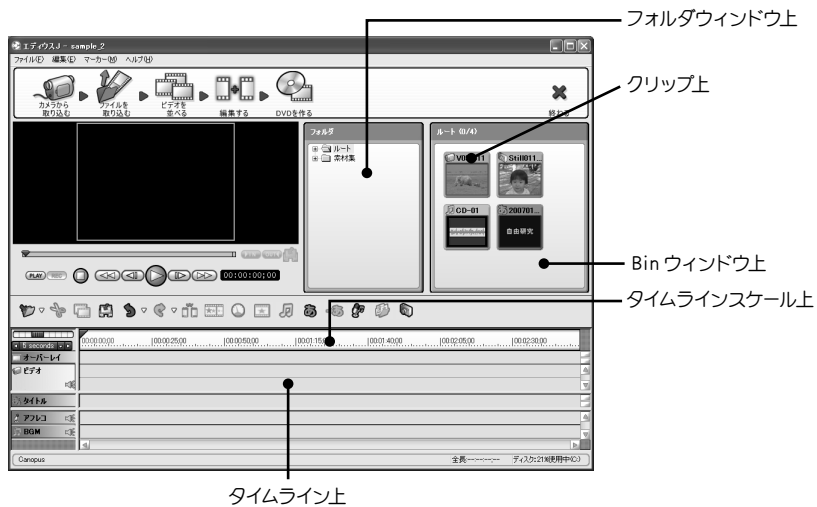
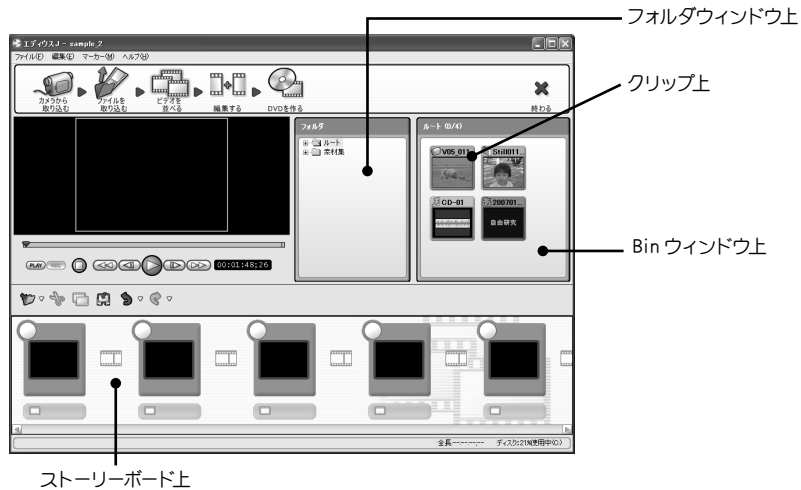


マーカーを追加
タイムラインカーソル位置にマーカーを追加します。

マーカーを削除
タイムラインカーソル位置のマーカーを削除します。

7-2 ポップアップメニューの項目と説明

マウスの右クリックで表示されるポップアップメニューは、マウスカーソルの位置によって変わります。



<フォルダウィンドウ上の右クリック>

新規フォルダ(F)
名前の変更(R)
全削除(A)

新規フォルダ

選択中のフォルダの下の階層にフォルダを新規作成します。

名前の変更

選択中のフォルダの名前を変更します。

全削除

フォルダウィンドウの全フォルダを削除し、Bin ウィンドウに登録されているすべてのクリップの登録を解除します。

< Bin ウィンドウ上の右クリック>

この操作は、Binウィンドウに対して実行されます。

貼り付け(P) Ctrl + V

表示(M)

貼り付け

クリップボードにコピーされているクリップを Bin ウィンドウにクリップとして登録します。

表示

Bin ウィンドウに表示されるクリップアイコンの大きさを変更します。

クリップ(大)(L)

✓クリップ(小)(S)



クリップ(大)

クリップ(小)

<クリップ上の右クリック>

この操作は、マウスカーソルが置かれたクリップに対して実行されます。

タイムラインに貼り付け(A) Shift + Enter

切り取り(T) Ctrl + X

コピー(C) Ctrl + C

登録の解除(D) Delete

タイムラインに貼り付け

マウスカーソルが置かれたクリップを選択したトラックのタイムラインカーソル位置に挿入します。

切り取り

マウスカーソルが置かれたクリップをクリップボードに移動します。

コピー

マウスカーソルが置かれたクリップのコピーをクリップボードに作成します。

登録の解除

マウスカーソルが置かれたクリップを、Bin ウィンドウから削除します。

<ストーリーボード上の右クリック>

この操作は、マウスカーソルが置かれたクリップに対して実行されます。

削除(D)	削除 マウスカーソルが置かれた位置に登録されているクリップを、ストーリーボードから削除します。
トランジションの設定(R)... ビデオフィルタの設定(V)...	トランジションの設定 マウスカーソルが置かれた位置にトランジションを設定します。 ビデオフィルタの設定 マウスカーソルが置かれた位置に登録されているクリップにビデオフィルタを設定します。

<タイムライン上の右クリック>

この操作は、選択したクリップに対して実行されます。

切り取り(T)	Ctrl + X	切り取り 選択したクリップをクリップボードに移動します。
コピー(C)	Ctrl + C	コピー 選択したクリップのコピーをクリップボードに作成します。
貼り付け(P)	Ctrl + V	貼り付け クリップをクリップボードからタイムラインカーソル位置に貼り付けます。
削除(D)	Delete	削除 選択したクリップ、トランジションなどを削除します。
隙間を詰める(G)		隙間を詰める クリップとクリップの間に隙間がある場合に、隙間を削除します。
速度(S)... ビデオフィルタの設定(V)... オーディオの設定(A)... トランジションの設定(R)... タイトルの作成(Q)... タイトルエフェクトの設定(E)...		速度 選択したクリップの速度を変更します。 ビデオフィルタの設定 選択したクリップにビデオフィルタを適用します。 トランジションの設定 最寄りのカットポイントにトランジションを設定します。 タイトルの作成 Quick Titler を起動し、タイトルトラックのタイムライン位置にタイトルクリップを作成します。 タイトルエフェクトの設定 選択したタイトルクリップに効果を設定します。

<タイムラインスケール上の右クリック>

この操作は、タイムラインカーソルの位置に対して実行されます。

マーカーを追加(A) V マーカーを削除(D)	マーカーを追加 タイムラインカーソル位置にマーカーを追加します。追加したマーカーは DVD 作成時に自動的に DVD のチャプタとなります。 マーカーを削除 タイムラインカーソル位置のマーカーを削除します。
----------------------------	--

7-3 設定ダイアログ

<ムービーの出力>

出力するファイル形式を選択します。



DV 用プロジェクト



HDV 用プロジェクト

- Canopus HQ AVI …………… HQ形式のAVIファイルを出力します。
- DV AVI …………… DV形式のAVIファイルを出力します。
- MPEG (Generic) …………… MPEG2プログラムストリーム形式のファイルを出力します。
- MPEG (HDV) …………… MPEG2トランスポートストリーム形式のファイルを出力します。
- Windows Media Video …… Windows Media形式のビデオファイルを出力します。

< Canopus HQ AVI >

出力するHQ形式のAVIファイルの画質、保存先を設定します。



- ①保存先
ファイルの保存先フォルダ、ファイル名、ファイルの種類を指定します。
- ②Canopus HQ コーデックの設定
出力するビデオの画質を設定します。画質を良くするほど、出力に時間がかかります。
- ③保存
出力を開始します。出力が完了したファイルは自動的にBinウィンドウにクリップとして登録されます。

< DV AVI >

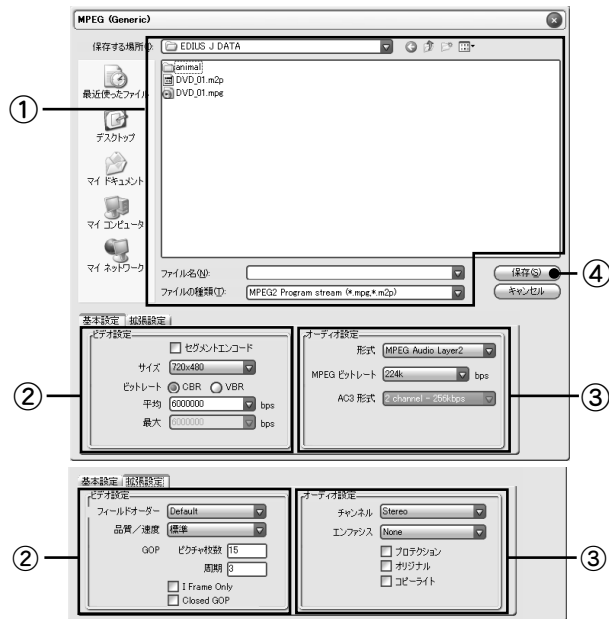
DV形式のAVIファイルを出力します。



- ①保存先
ファイルの保存先フォルダ、ファイル名、ファイルの種類を指定します。
- ②MSDVで出力する
Windows に標準装備されている MSDV コーデックを使用して出力する場合にチェックします。チェックを外した場合には、Canopus DV コーデックを使用して出力します。Canopus DV を使用して出力すると画質が向上しますが、カノプス製品がインストールされていないパソコンでは再生することができません。
- ③保存
出力を開始します。出力が完了したファイルは自動的にBinウィンドウにクリップとして登録されます。

< MPEG (Generic) >

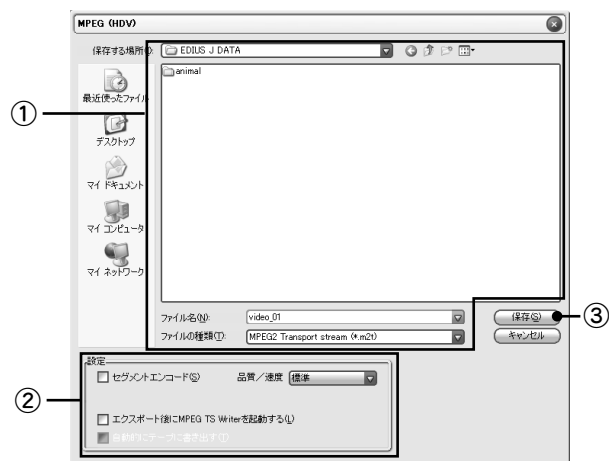
MPEG2プログラムストリーム形式のファイルを出力します。



- ①保存先
ファイルの保存先フォルダ、ファイル名、ファイルの種類を指定します。
- ②ビデオ設定
ビデオのサイズやビットレート、フィールドオーダー、画質GOP構造を設定します。ビデオの品質を高くするほど出力に時間がかかります。[セグメントエンコード]をチェックすると、再エンコードの必要な部分のみを再変換して出力します。
- ③オーディオ設定
オーディオ形式やビットレート、チャンネル、エンファシス著作権情報を設定します。
※Dolby Digital (AC3)のAC3形式で5.1 channel/5 channel)を選択した場合、ビデオトラックのステレオ音声それぞれL/Rチャンネルに割り振られます。
- ④保存
出力を開始します。出力が完了したファイルは自動的にBinウィンドウにクリップとして登録されます。

< MPEG (HDV) >

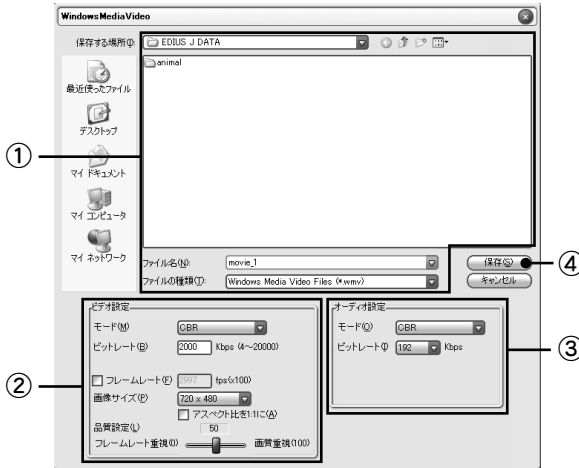
MPEG2トランスポートストリーム形式のファイルを出力します。



- ①保存先
ファイルの保存先フォルダ、ファイル名、ファイルの種類を指定します。
- ②設定
変更された部分のみを変換して出力する[セグメントエンコード]の設定や、画質の設定を行います。
[エクスポート後にMPEG TS Writerを起動する]をチェックすると、MPEGファイルの出力後に、テープへの書き出しを行うことができます。
- ③保存
出力を開始します。出力が完了したファイルは自動的にBinウィンドウにクリップとして登録されます。

< Windows Media Video >

Windows Media形式のビデオファイルを出力します。



- ①保存先
ファイルの保存先フォルダ、ファイル名、ファイルの種類を指定します。
- ②ビデオ設定
ビデオの変換形式、ビットレート、フレームレート、画面サイズ、映像品質を設定します。
- ③オーディオ設定
オーディオの変換形式、ビットレートを設定します。
- ④保存
出力を開始します。出力が完了したファイルは自動的に Bin ウィンドウにクリップとして登録されます。

< テープ出力ウィザード >

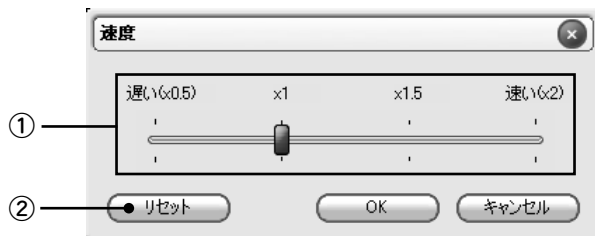
カメラを再生モード (デッキモード) で接続し、テープに書き出します。



- ①出力されるビデオの詳細が表示されます。
- ②出力
出力を開始します。

<速度>

クリップの再生速度を変更します。



- ①再生速度を50%～200%の範囲で設定します。
- ②リセット
再生速度を標準(×1)に戻します。

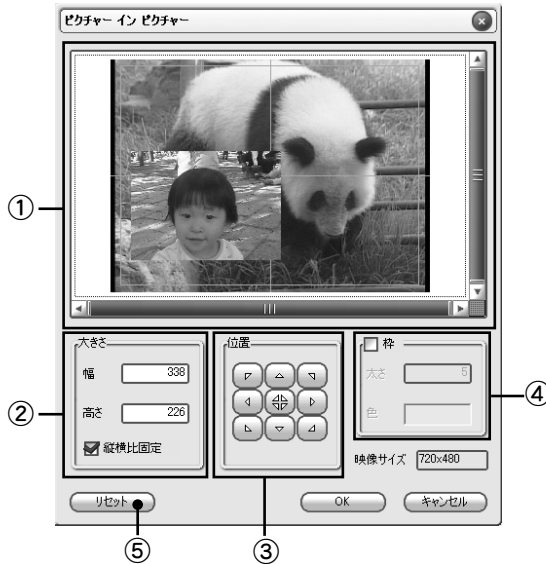
<ビデオフィルタの設定>

クリップの映像の画質を調整します。



- ①明るさ
クリップの明るさを調整します。
- ②鮮やかさ
クリップの鮮やかさを調整します。
- ③色合い
クリップの色合いを調整します。
- ④ミラー
画面を鏡に映したように、上下、左右、上下+左右に反転させます。
- ⑤ソフトフォーカス
霧がかかったような効果を出すことができます。
- ⑥ピクチャーインピクチャー
クリップを子画面にして表示します。
- ⑦リセット
ビデオフィルタを解除します。

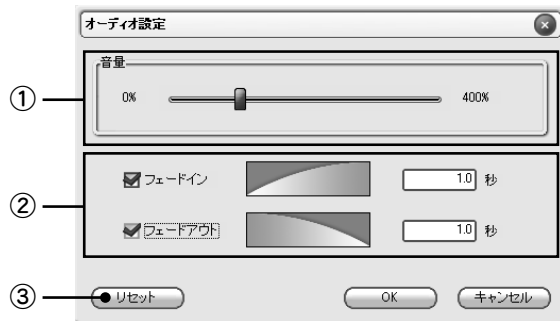
<ピクチャー イン ピクチャー>



- ①プレビュー
表示される子画面を確認しながら調整することができます。プレビュー内の白色の枠がテレビ画面に映したときに見える範囲を表しています。
- ②大きさ
子画面の大きさを数値で指定します。[縦横比固定]にチェックを入れておくと、一方の数値を変更すると、自動的にもう一方の数値が変更されます。プレビュー上で子画面の端をドラッグして大きさを変更することもできます。
- ③位置
子画面の位置を、画面端、中央に合わせる場合にクリックします。プレビュー上で子画面の内部をドラッグして、位置を変更することもできます。
- ④枠
子画面に枠をつける場合に使用します。
- ⑤リセット
変更した設定内容を破棄し、この画面を開く直前の状態に戻します。

<オーディオ設定>

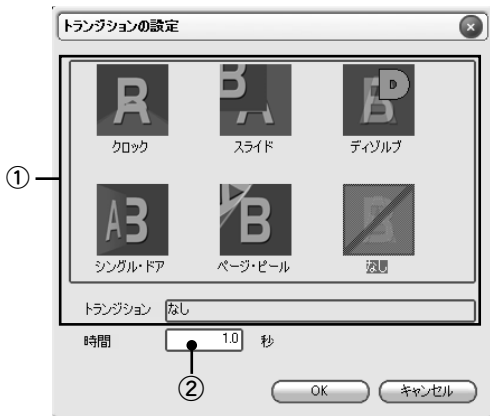
クリップの音量、フェードイン、フェードアウトの設定を行います。



- ①音量
ボリュームを0%~400%の範囲で設定します。
- ②フェードイン、フェードアウト
フェードイン、フェードアウト効果の有無と時間を設定します。
- ③リセット
クリップを「オーディオ設定」が行われていない状態に戻します。

<トランジションの設定>

クリップとクリップのつなぎ目にトランジションを設定します。



- ①トランジションの種類
トランジションを選択します。

なし
設定されているトランジションを解除します。
クロック



スライド



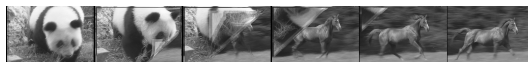
ディゾルブ



シングル・ドア



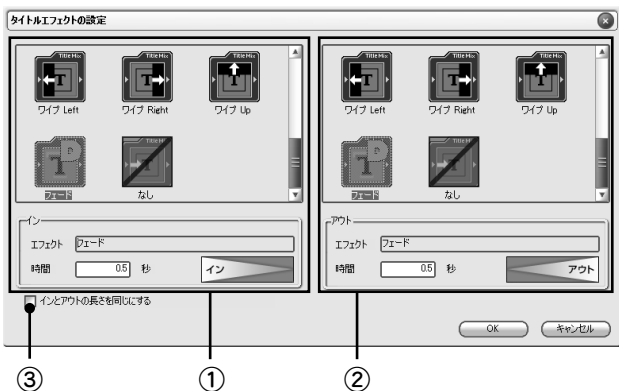
ページ・ピール



- ②時間
トランジションの長さを設定します。

<タイトルエフェクトの設定>

タイトルクリップに設定する効果を指定します。

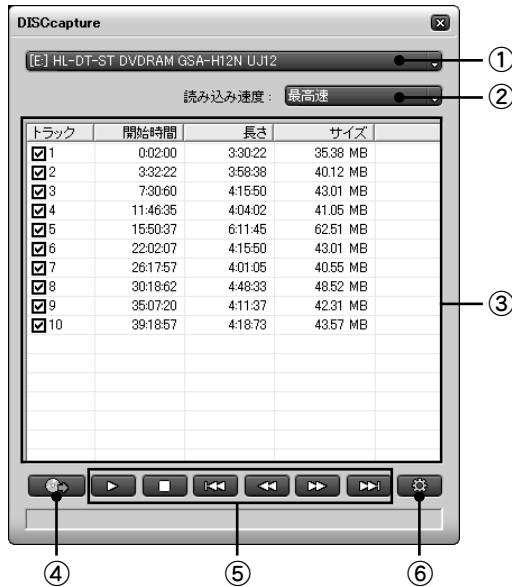


- ①イン
タイトルの表示開始時のエフェクトの種類と時間を指定します。
- ②アウト
タイトルの表示終了時のエフェクトの種類と時間を指定します。
- ③インとアウトの長さを同じにする
表示開始時と終了時のエフェクトの長さを同じにする場合にチェックします。

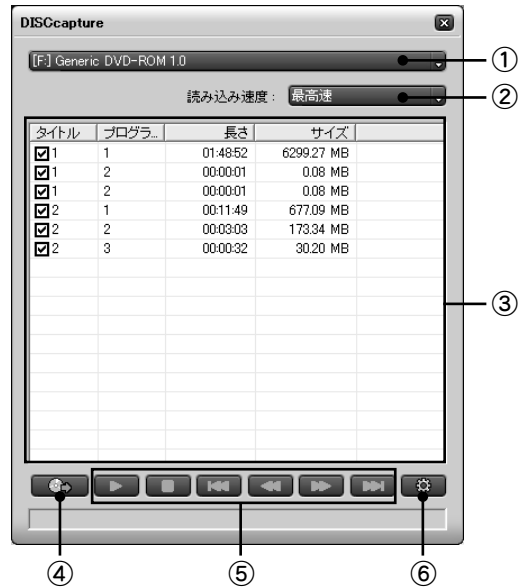
< DISCcapture >

CD、DVDから素材クリップを取り込む画面です。

CD 取り込み時



DVD 取り込み時



①ドライブ

CD、DVDのドライブを選択します。

②読み込み速度

CD、DVDの読み込み速度を選択します。エラーが出る場合には、読み込み速度を落としてください。

③トラック一覧

取り込むことのできるトラックの一覧が表示されます。チェックを付けた項目をパソコンに取り込みます。一覧上で右クリックして表示されるメニューから、[すべてのトラックを選択する]、[すべてのトラックの選択を解除する]ことができます。

④取り込みボタン

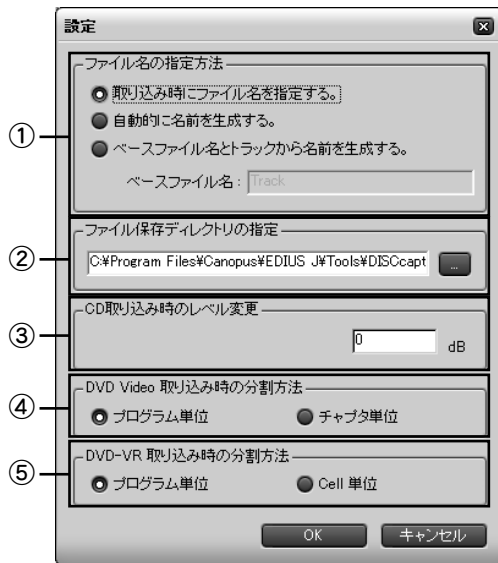
取り込みを開始します。

⑤トラック操作ボタン (CD取り込み画面のみ)

トラックを再生して確認することができます。再生、停止、前のトラック、巻き戻し、早送り、次のトラック。DVDの取り込み画面では、使用することができません。

⑥設定ウィンドウを開きます。

< DISCCapture の設定 >



①ファイル名の指定方法

[取り込み時にファイル名を指定する]を選択すると、新しいファイルの取り込みが開始される際に、ファイル名を指定するダイアログが開きます。[自動的に名前を生成する]でファイル名を自動で指定したり、[ベースファイル名とトラックから名前を生成する]でファイル名の先頭に付けられる語句を指定することができます。

②ファイル保存ディレクトリの指定

取り込んだファイルの保存先を指定します。

③CD取り込み時のレベル変更

CDから取り込んだオーディオクリップのボリュームを調整します。

④DVD Video取り込み時の分割方法

DVD Videoからビデオファイルを取り込む際に、プログラムごとに分割するか、チャプタごとに分割するかを指定します。

⑤DVD-VR取り込み時の分割方法

DVD-VRフォーマットのディスクからビデオファイルを取り込む際に、プログラムごとに分割するか、Cellごとに分割するかを指定します。

索引

アルファベット

A~Z

AVI ファイル	2
BGMトラック	60
Bin ウィンドウ	62
Canopus DVD Creator	108
Canopus HQ AVI	125
CD から取り込む	27
DISCcapture	131
DISCcapture の設定	132
DV AVI	125
DVD の作成	5, 12, 116
DVD ビデオから取り込む	31
DVD メニュー	110
DVD を作る	107, 116
DV 編集用プロジェクト	5
Fit	59
HDV 編集用プロジェクト	5
IEEE1394 ケーブル	17
In 点	66
m2t ファイル	2
MPEG (Generic)	126
MPEG (HDV)	126
MPEG-TS ファイル	2
Out 点	66
Quick Titler	94
TC ジャンプ	22
Windows Media Video	127

かな

あ

アイコンの大きさ	122
アフレコ	102
アフレコトラック	60

え

映像効果	86
------	----

お

オーディオクリップ	62
オーディオクリップを登録する	74
オーディオ設定	92, 129
オーバーレイトラック	60
オーバーレイトラックに登録する	72
終わる	5
音量	92

か

カーソル位置に貼り付け	46, 71
カメラから取り込む	15
カメラの接続	17
カメラの操作	19

き

起動	4
キャプチャ	16
切り取り	120, 122, 123

<

クリップ	61
クリップの自動分割	23
クリップの順番	42, 69
クリップのつなぎ効果	48, 82

クリップボードに切り取る.....	44, 70
クリップボードにコピー.....	45, 70
クリップ名の変更.....	105
クリップを置き替える.....	73
クリップを削除.....	43, 69
クリップを挿入.....	40, 65
クリップを登録.....	64
クロック.....	130

け

現在位置のフレームを Bin に追加.....	106
-------------------------	-----

こ

子画面.....	88
コピー.....	120, 122, 123
コントロールパネル.....	19

さ

最近使ったプロジェクト.....	8
再生速度.....	85
再生モード.....	17
削除.....	123
削除 (ストーリーボード).....	43

し

自動分割する.....	23
次ページボタン.....	113
順番を入れ替える.....	42, 69
ショートカットアイコン.....	4
新規作成 (プロジェクト).....	6
新規フォルダ.....	122
シングル・ドア.....	130

す

隙間を詰める.....	123
スタート画面.....	5
スタイルの選択画面.....	108
ストーリーボード.....	38
ストーリーボードに登録.....	39
スライド.....	130

せ

静止画クリップ.....	62
静止画の作成.....	106
接続.....	17
全削除.....	122
全体をレンダリング.....	104

そ

速度.....	85, 123, 128
素材集.....	63
素材集フォルダ.....	62

た

タイトルエフェクト.....	101
タイトルエフェクトの設定.....	123, 130
タイトルクリップ.....	62
タイトルトラック.....	60
タイトルの再生ボタン.....	113
タイトルの作成.....	94, 123
タイトルのラベル.....	113
タイムコード.....	18
タイムコードでジャンプ.....	22
タイムライン.....	54
タイムラインカーソル.....	54
タイムラインスケール.....	59
タイムラインに貼り付け.....	122
タイムラインの機能.....	59
タイムライン編集ボタン.....	54

ち

チャプタ.....	118
-----------	-----

つ

続きから.....	5
-----------	---

て

ディゾルブ.....	130
テープ出カウィザード.....	127
テープへの出力.....	120
テキストのプロパティ.....	96
デッキコントロール.....	19

デッキモード..... 17

と

登録（オーディオクリップ）..... 74

登録（オーバーレイトラック）..... 72

登録（ストーリーボード）..... 39

登録（タイムライン）..... 64

登録の解除..... 122

トラック名..... 54

トランジション..... 48, 82

トランジションの設定..... 123, 130

トランジションの長さを指定..... 82

トランジションマーク..... 61

取り込み..... 26

トリミング..... 76

トリミングマーク..... 61

な

名前の変更..... 122

名前を変更して保存..... 11, 120

並び替え（ストーリーボード）..... 42

並び替え（タイムライン）..... 69

ナレーション..... 102

の

ノンリニア編集..... 2

は

初めから（通常）..... 5

初めから（ハイビジョン）..... 5

貼り付け..... 122, 123

ひ

ピクチャー イン ピクチャー..... 88, 129

ビデオクリップ..... 62

ビデオトラック..... 60

ビデオフィルタ..... 50, 86

ビデオフィルタの設定..... 123, 128

ビデオ編集の基礎知識..... 2

ビデオを並べる..... 37

表示..... 122

表示スケール..... 59

ふ

ファイル形式..... 36

ファイルメニュー..... 120

ファイルを取り込む..... 25

フィルタマーク..... 61

フェードアウト..... 92

フェードイン..... 92

フォルダから取り込む..... 35

フォルダの名前..... 122

フォルダを新規作成..... 122

プレビューウィンドウ..... 19

プロジェクト..... 6

プロジェクトの保存..... 10, 120

プロジェクトファイルを開く..... 8

プロジェクトファイルを保存する..... 10

プロジェクト名..... 6

プロジェクトを新規作成する..... 6

プロジェクトを保存..... 16

分割しないで取り込む..... 23

へ

ページ・ピール..... 130

ページラベル..... 113

ペースト..... 120

編集する..... 53

編集メニュー..... 120

ほ

ボイスオーバー..... 102

保存先..... 7

ポップアップメニュー..... 121

ま

マーカー..... 118

マーカーメニュー..... 120

マーカーを削除..... 120, 123

マーカーを追加..... 120, 123

み

ミュートボタン..... 60

む

ムービーの出力..... 120, 124

め

メニューの編集画面..... 109

メニューバー..... 120

も

元に戻す..... 120

や

やり直し..... 120

る

ルートフォルダ..... 62

れ

レンダリング..... 105

ろ

ロード..... 26